

渡邊先生遺稿

新裁縫教科書

卷之二



故東京裁縫
女學校ニ長

渡邊辰五郎先生遺稿

新裁縫教科書

東京裁縫女學校出版部

渡邊先生遺稿 新裁縫教科書 卷之二

目次

男帶の紵方	一
女丸帶の仕立方	一
女鯨帶の仕立方	三
博多と縹子との鯨帶の仕立方	四
三つ身被布の裁方及積方	六
四つ身被布の裁方及積方	七
幅二尺の布にて三つ身被布の裁方及積方	七
幅二尺の布にて四つ身被布の裁方及積方	七
大人被布の裁方及積方	九

同裏の裁方及積方	一〇
五六歳小兒のシャツの裁方及積方	一〇
十歳位の小兒シャツの裁方及積方	一一
十四歳位の小兒シャツの裁方及積方	一三
肩當なし胴形シャツの裁方及積方	一三
大人の肩當附シャツの裁方及積方	一三
シャツの腮の繰り方	一三
シャツの縫方	一四
ホワイトシャツの裁方及積方	一六
ホワイトシャツの縫方	一七
大人シャツの裁方	一九
幅一尺八寸の布にて大人シャツ裁方及積方	一九

幅一尺七寸の布にて大人シャツ裁方及積方	二〇
胸當附シャツの裁方及積方	二〇
太鼓胴シャツの裁方及積方	二二
古着物の表を以てシャツ及ツボン下の裁方	二三
常幅の布にてシャツの裁方及積方	二三
幅二尺の布にてシャツの裁方	二三
幅二尺三寸の布にてシャツの裁方	二三
五六歳の運動シャツとツボンとの裁合方及積方	二四
シャツの縫方	二六
ツボンの縫方	二七
水兵形運動シャツの裁方	三〇
同毛縁を附くる場所	三一

水兵形運動シャツの縫方……………三二
仕入シャツの裁方……………三三
三四歳の小兒ツボン下の裁方及積方……………三四
七八歳の小兒ツボン下の裁方及積方……………三四
十歳位の小兒ツボン下の裁方及積方……………三四
十三四歳の男兒ツボン下の裁方及積方……………三四
大人紐附ツボン下の裁方及積方……………三四
幅八寸の布にて大人ツボン下の裁方及積方……………三四
紐附ツボン下の縫方(二)……………三五
紐附ツボン下の縫方(三)……………三七
腰廻附ツボン下二足の裁合方及積方……………三九
腰廻附ツボン下の裁方及積方……………四〇

腰廻附ツボン下の縫方(但返縫)……………四一

猿勝の裁方……………四三
男猿勝の地質……………四三
男猿勝の縫方……………四四
女猿勝の地質……………四五
女猿勝の裁方……………四五
女猿勝の縫方……………四五
稽古着の裁方及積方(擊劍用)……………四八
股引の裁方及積方……………四九
勝上股引仕立のツボン下の裁方及積方……………四九
同縫方……………五〇
車夫用筒袖の裁方及積方……………五一

夏の腹掛裁方	五二
同縫方	五三
車夫用半股引の裁方及積方	五三
同縫方	五四
車夫用襦袢の裁方	五四
袷腹掛の裁方及積方	五五
袷腹掛裏の裁方及積方	五五
袷腹掛の縫方	五五
三つ身羽織を仕立つる寸法	五七
四つ身羽織を仕立つる寸法	五八
幅一尺の布にて三つ身羽織の裁方及積方	五八
幅一尺三寸の布にて三つ身羽織二枚の裁合方及積方	五九

前衿裁羽織の裁方及積方	六〇
本裁男羽織を仕立つる寸法(但普通)	六一
男單羽織の縫方	六一
男袷羽織の縫方	六三
女袷羽織の縫方	六三
女綿入羽織の縫方	六六
單羽織の裁方及積方	七一
單羽織鈎襠の裁方及積方	七三
男袷羽織の裁方及積方	七四
羽織裏の裁方及積方	七六
羽織の裁方及積方	七六
引返女羽織の裁方及積方	七七

幅二尺一寸の片面物を以て男羽織の裁方及積方……………七九
 總裏女羽織の裁方及積方……………七九
 幅一尺の布にて三つ身羽織表の裁方及積方……………八一
 三つ身羽織を仕立つる寸法……………八一
 同裏の裁方及積方……………八一
 幅一尺三寸の布にて四つ身羽織表の裁方及積方……………八一
 四つ身羽織を仕立つる寸法……………八一
 四つ身羽織表の裁方及積方……………八三
 男兒四つ身單羽織の裁方及積方……………八四
 表地一丈八尺、裏地一丈にて四つ身羽織の積方……………八四
 單羽織の裁方……………八五
 片面物にて襟と袖口とを鈎裁になす法……………八六

四つ身筒袖羽織表の裁方及積方……………八六
 袷羽織の裁方及積方……………八七
 男袷羽織の裏地積方……………八八
 幅二尺一寸の布にて男羽織表の裁方及積方……………八九
 幅一尺二寸の布にて袷羽織表の裁方及積方……………九〇
 袷羽織裏地の積方……………九〇
 男袷羽織印の附方……………九一
 幅三尺七寸の布にて單羽織二枚の裁合方及積方(二)……………九四
 幅三尺七寸の布にて單羽織の裁方及積方(三)……………九四
 幅二尺四寸の布にて男羽織の裁方及積方……………九四
 五六歳の子供の羽織二枚の裁合方及積方……………九六
 三つ身羽織二枚の裁合方及積方……………九七

幅一尺七寸の布にて女羽織の裁方及積方	九七
幅二尺の片面物にて女羽織の裁方及積方	九八
幅一尺六寸の布にて女羽織の裁方及積方	九九
幅二尺一寸の片面物にて男羽織の裁方及積方	九九
幅三尺の布にて單羽織二枚の裁合方及積方	九九
幅一尺の片面物にて三つ身被布の裁方及積方	一〇二
幅一尺一寸五分の布にて三つ身被布の裁方及積方	一〇三
一つ身縮羽織の裁方	一〇四
一つ身縮被布の裁方	一〇四
三つ身被布の裁方及積方	一〇五
幅二尺の布にて五六歳の子供の被布の裁方及積方	一〇五
五六歳の子供の被布を仕立つる寸法	一〇五

四つ身被布の裁方及積方	一〇七
幅二尺の布にて七八歳の被布の裁方及積方	一〇八
大人の被布の裁方及積方	一〇八
丸胴着の裁方及積方	一〇八
幅二尺の布にて大人被布の裁方及積方	一一〇
二幅物にて被布の裏の積方	一一〇
幅三尺六寸の布にて吾妻コート <small>(二)</small> の裁方	一一三
同幅の布にて吾妻コート <small>(三)</small> の裁方	一一四
常幅の布にて吾妻コート <small>(三)</small> の裁方及積方	一一四
幅三尺六寸の布にて吾妻コート <small>(四)</small> の裁方及積方	一一四
両面羽織の縫方	一一四
両面の口綿入或は綿入着物の仕立方	一一五

道行を仕立つる寸法并に縫方	一二六
極上仕立總落しの單羽織の縫方	一二六
總割仕立羽織の縫方	一二七
本重ねの縫方	一二八
本比翼の縫方	一二三
火熨斗の使用法	一二五
五つ子袴の裁方及積方	一二五
同縫方	一二六
七つ子袴の裁方及積方 (一)	一二二
七つ子袴の裁方及積方 (三)	一二三
幅二尺の布にて五六歳の女袴の裁方及積方	一二三
五六歳の女袴の用布積方	一二三

十一二歳の女襠なし袴の裁方及積方	一二三
女襠あり袴の裁方及積方	一二六
幅三尺の布にて女襠あり袴の裁方及積方	一二六
幅二尺の布にて女襠なし袴の裁方及積方	一二六
女袴の縫方	一二六
十歳位の男兒馬乘袴の裁方及積方	一二七
十一二歳馬乘袴の裁方及積方 (一)	一二九
十四五歳の男兒袴の裁方及積方	一四〇
十番馬乘袴の裁方及積方	一四一
男袴各部寸法の割合	一四二
十二三歳の男兒袴の裁方及積方 (三)	一四三
各種袴の腰紙裁斷圖	一四四

大人馬乗袴の裁方及積方……………一四五

女袴の種類……………一四七

七八歳の女兒襠なし袴の裁方及積方……………一四八

幅二尺の布にて袴の裁方及積方……………一四八

常幅の布にて袴の裁方及積方……………一四八

幅三尺の布にて女襠あり袴の裁方及積方……………一四八

幅三尺六寸の布にて女袴の裁方及積方……………一五二

幅二尺の布にて馬乗袴の裁方及積方……………一五三

幅二尺の布にて馬乗袴の裁方及積方……………一五三

着物の丈を知て袴の紐下を求むる法……………一五三

十二歳位の男兒袴の裁方及積方 (三)……………一五三

紐下一尺六寸五分出來の袴の裁方及積方……………一五四

十布遣馬乗袴の裁方及積方……………一五五

四布遣馬乗袴の裁方及積方……………一五六

十番馬乗袴二具の裁合方及積方……………一五七

七つ子の馬乗袴三具の裁合方及積方 (二)……………一五七

七つ子の馬乗袴三具の裁合方及積方 (三)……………一五八

古着物表にて十番馬乗袴の裁方……………一六〇

古羽織を以て十番馬乗袴の裁方……………一六一

四つ身裁古着物にて中裁袴の裁方……………一六二

紐下二尺三寸出來上りの馬乗袴の裁方及積方……………一六二

十番馬乗袴紐繼なしの裁方及積方……………一六三

トッコー入馬乗袴の裁方及積方……………一六四

大人袴表の裁方及積方……………一六四

同上裏の裁方及積方	一五
後稜の取方	一六
前稜の取方	一七
袷袴の縫方(但表裏共同幅の時)	一七〇

目次終

渡邊先生遠稿 **新裁縫教科書** 卷之二

○男帯の紵方。

男帯を紵するには、先づ品の伸縮のびちぢみを直し、然る後表を内にして、幅を二つ折になし、幅の印を付け、其所に折を付け、次に帯心は帯皮おびの縫込みだけ狭く裁切り、心の方に眞綿まわたを引ひて帯の上に置き、縫糸を二つに割り、これにて表の方に糸を出さぬ様に心を帯に綴附ずいぶけ、次に両端を返針にして縫ひ、心は縫込みだけ短くなして綴附ずいぶけ、引き返し、所々に待針を刺し、次に針目を細かに紵け、然る後疊かさねみ置くなり。

○女丸帯の仕立方。

女丸帯の仕立方は、始めに品の伸縮を直し、表を内にして、幅二つ

に折り、次にみゝの方は、二枚共に躰を掛け、帯幅の印を付け、其所を一分先に出しては、五厘後に返して縫ふ、此如く返縫にして真中を一尺程縫ひ残り、両側より平鋺を掛け、次に縫目を左右に開き、鋺を當て、次に両端を返縫になし、(但幅の縫込は縫付けざるなり)角は最初は両端の縫込を折りて、能く縫付け、次に一方の縫込を折りて、綴付け、次に心は帯の縫込だけ狭く裁ち、(但心一枚のとき)心の方に真綿を引ききて、帯の上に置き、縫糸を二つに割り、之を以て心を帯に綴付け、次に引き返し、縫目を正しくなして、躰を掛け、真中の縫ひ残したる所を紵け、然る後疊み置くなり、若し心の布二枚のときは、一枚は帯幅より五厘狭くなし、一枚はそれより縫込だけ狭く裁ち落し、先に心幅の一方を揃へて心二枚を綴じ置き、幅の廣き方に真綿をゆるく引き、綿を引ききたる方を帯皮の

上に置き、心を少しゆるくなして、帯皮の縫込の所に躰にて綴付け、次に心幅の狭き方に真綿を引き、次に縫ひ残したる所より引き返すなり。

帯皮の地質厚きとき、即襦珍等の場合には、右の如くに心幅を定め、襦子等の時には心幅を一枚は帯皮の幅と同様になし、一枚は縫代だけ狭くなすべし。

○女鯨帯の仕立方。

絞と天鷲絨との鯨帯を仕立つるには、先づ絞の方に入るゝ心は糊をこわく張り、これに真綿を引き、其上に絞の切れを引き伸し、四方を心に縫付け、次に天鷲絨と絞とを能く合せて躰を掛け、次に幅の印を付け、其真中を一尺残して縫ひ、四角の縫込を絞の四方に返して縫付け、次に帯皮の幅八寸五分ならば、心の幅を八寸

四分に裁切りて絞の方に綴付け、次に縫ひ残したる所より手を入れ、角を持ちて引き返し、縫目を正して、針目を五分位になし、躰を掛け、次に縫ひ残したる所を衽け、疊み置くなり。

注意 縮緬類の帯を仕立つるには、總て此の縫方を良しとす。

○博多と縹子との鯨帯の仕立方。

博多と縹子との鯨帯を仕立つるには、先づ品の伸縮を直し、表と裏とを合せ、周圍を躰にて縫付け、次に幅と丈とに印を付け、丈の眞中を一尺残して縫ひ、折目は博多の方に返し、四角の縫込を縫付け、次に帯の幅より心の幅を一分狭まく切り、他の一枚の心は帯の縫込だけ狭く裁ち、次に心と心とを揃へて綴ぢ、其上に眞綿を引き、次に博多の上に心を載せ、縹子の方に程よく綴付け、次に又眞綿を引き、縫ひ残したる所より手を入れ、角を持ちて、引き返

し、縫目を正しくして、針目を四五分位に躰をかけ、縫ひ残したる所を細かに衽け、疊み置くなり。

注意 厚き織物ならば、總て此の仕立方をよしとす。

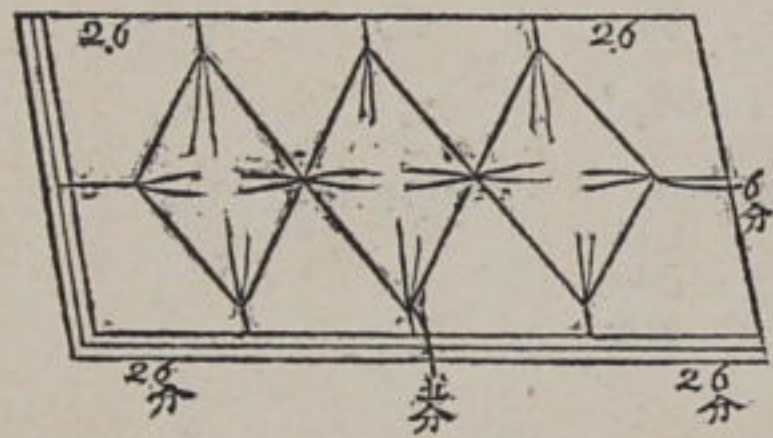
第一圖

男帯仕立上圖



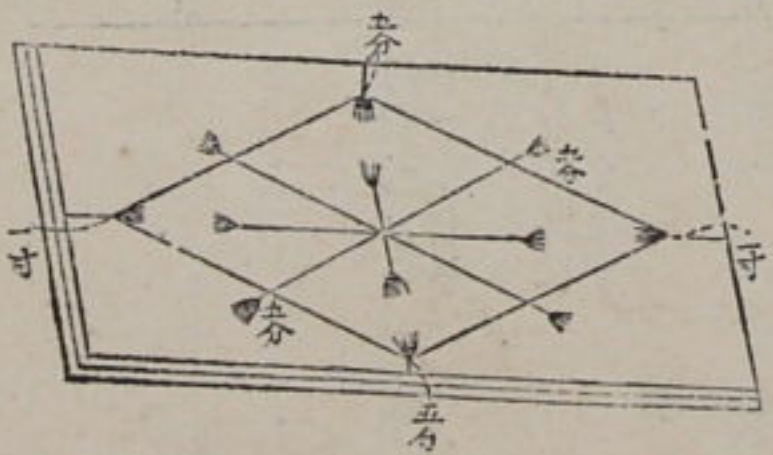
第二圖

女帯仕立上圖



第三圖

同



女帯の綴絲は、赤色と白色の絲を交ぜて綴づるなり。

○常幅長さ一丈四尺の布を以て、三つ身被布の裁方及積方。(第四圖)

但袖丈一尺四寸五分、前身頃は、後より二寸長くす。

リ エ チ タ	前	後	ソ デ	ソ デ
後	前	リ エ チ タ	ソ デ	ソ デ

袖口丈一尺
後身丈二尺六寸六分餘
前肩一寸七分
前身二尺八寸六分餘
小衿別切七寸

算 式

$$\begin{aligned} \text{袖丈 } 14,5 \times 4 &= 58, & 140, - 58, &= 82, \\ \text{前下 } 82, - 2, &= 80, & 80, \div 3 &= 26,6 \text{ 後丈} \\ 26,6 + 2, &= 28,6 \text{ 前丈} \end{aligned}$$

圖 五 第

前	後	後	前	ソ デ	ソ デ
前	後	後	前	ソ デ	ソ デ

小衿別切九寸
衿一寸二分
真直に切り
三分の間にす
中肩一寸七分

算 式

$$\begin{aligned} \text{袖丈 } 15, \times 4 &= 60, & 180, - 60, - 4, &= 116, \\ 116, \div 4 &= 29, & 29, + 2, &= 31, \text{ 前身丈} \\ & \text{後身丈} & & \text{前身丈} \end{aligned}$$

積方。袖丈の四倍を總尺より減じ、又前下の二寸を減じ、三にて

除せば、後身丈を得、後丈に前下の二寸を加へて前丈を得るなり。

○常幅、長さ一丈八尺の布を以て、四つ身被布の裁方及積方。(第五圖)

但袖丈一尺八寸五分、小衿別布九寸を要す。

積方。袖丈の四倍と、前下の二倍、即四寸とを總尺より減じ、四にて除せば、後身丈を得るなり。

又後身丈に前下を加ふれば、前丈を得るなり。

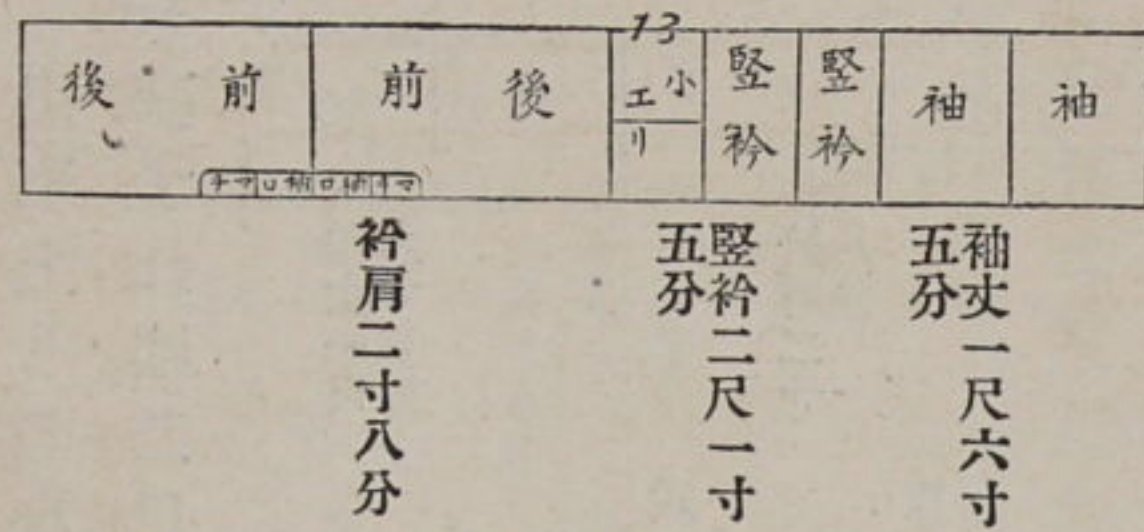
○幅二尺、長さ七尺の布を以て、三つ身被布の裁方及積方。(第六圖)

積方。豎衿の一尺四寸と、袖口の一尺、及前下の二寸とを總尺より減じ、二にて除せば、後身丈を得、後身丈に前下の二寸を加ふれば、前丈を得るなり。

○幅二尺、長さ九尺を以て、四つ身被布の裁方及積方。(第七圖)

但袖丈一尺五寸五分。

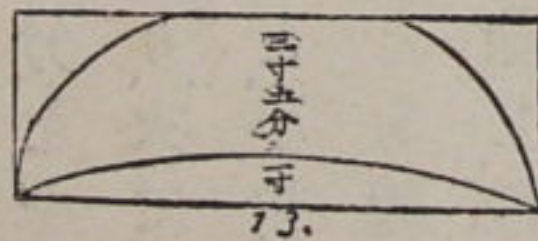
第八圖



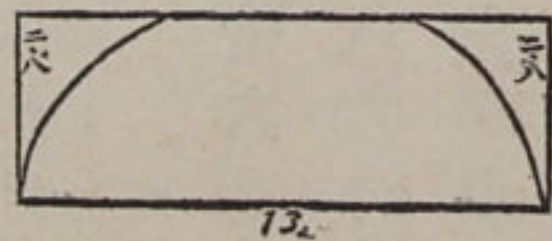
算式

身丈 前下 繰越
 $24, + 1, + 5 = 25,5$ 前丈
 豎衿下
 $25,5 - 4, = 21,5$ 豎衿丈
 袖丈
 $16,5 \times 4, = 66,$
 $275, - 66, - (21,5 \times 2) - 13, = 153,$ 小衿
 前下
 $153, - 4, = 149,$
 $149, \div 4 = 37,25$
 後身丈
 $37,25 + 2, = 39,25$
 前身丈

第十圖
圖方裁衿小の形月



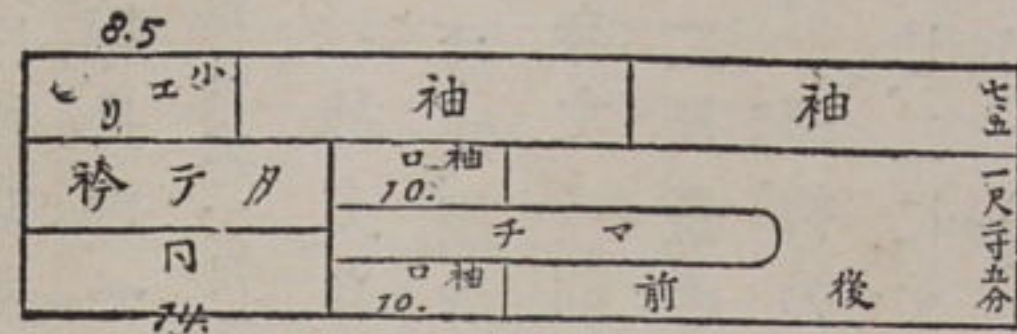
第九圖
圖方裁衿小常通



○常幅二丈七尺五寸の布を以て、大人被布表の裁方及積方(第八圖)

但袖丈一尺六寸五分、身丈二尺四寸出來上り。

第六圖

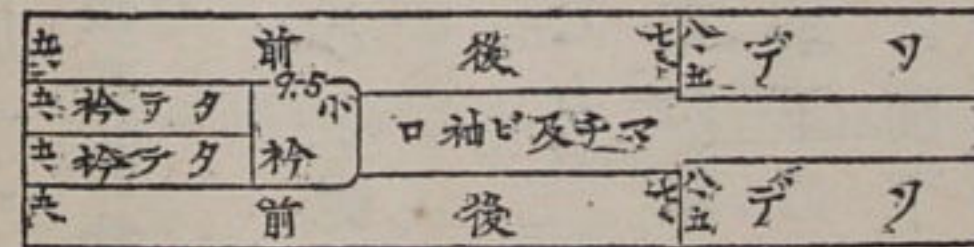


衿肩
八分一寸

算式

豎衿 袖口 前下
 $70, - 14, - 10, - 2, = 44,$
 $44, \div 2 = 22,$
 後丈
 $22, + 2, = 24,$
 前丈

第七圖



算式

$15,5 \times 2 = 31,$
 前下
 $90, - 31, - 2, = 57,$
 $57, \div 2 = 28,5$ 後丈
 $28,5 + 2, = 30,5$ 前丈

積方。袖丈の二倍と、前下の二寸とを總尺より減じ、二にて除せば、後身丈を得、後身丈に二寸を加ふれば、前丈を得るなり。

積方。出來上りの身丈に、前下の一寸と、繰越の五分とを加へ、
 衿下を減ずれば、二尺一寸五分を得、即、
 四倍と、
 三寸と、
 減じ、
 得、
 を得るなり。

同裏地の裁方及積方(第十一圖)
 ○幅九寸、長さ四尺八寸の布を
 以て、五六歳小兒シヤツの裁
 方及積方(第十二圖)

積方。袖丈の二倍と、カフス丈の

圖一十第



袖丈一尺
六寸五分

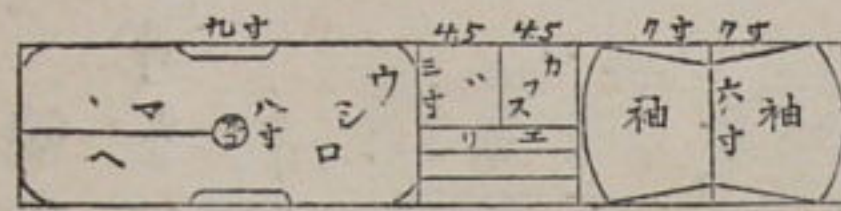
衿肩二寸
八分

算式

$$\begin{aligned} \text{袖丈} & 16, \times 8 = 128, & \text{身丈} & 24, \times 10 = 240, \\ 240, + 128, + 20, + 13, & = 401, & 401, - 275, - 12, & = 114, \\ & \text{小衿} & \text{裏用布} & \\ & \text{縫代} & \text{整衿下の二倍} & \end{aligned}$$

二倍とを總尺より減じ、又前後の差一寸を減じ、其残りを二にて
 除せば、前丈を得、前丈に一寸を加ふれば、後丈を得るなり。
 ○幅二尺、長さ三尺の布を以て、十歳位の小兒シヤツの裁方及
 積方(第十三圖)

圖二十第



袖七寸

六分繰落す

見返九寸

衿丈八寸五分

幅二寸

後丈一尺三寸

衿肩一寸七分

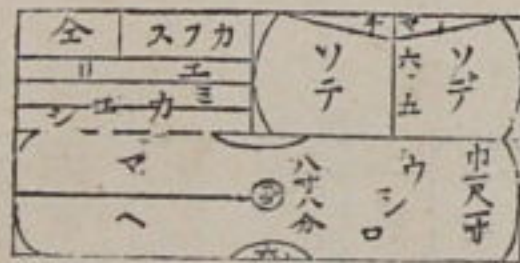
頸一寸七分

前丈一尺二寸

算式

$$\begin{aligned} \text{袖丈} & 7, \times 2 = 14, & 4,5 \times 2 & = 9, \\ 14, + 9, & = 23, & 48, - 23, & = 25, \\ 25, - 1, & = 24, & 24, \div 2 & = 12, \text{前丈} \\ 12, + 1, & = 13, \text{後丈} \end{aligned}$$

圖三十第



後丈一尺五寸

五寸五分

衿肩一寸二分

前丈一尺八寸

肩當なし

袖付一寸五分

衿幅一寸八分

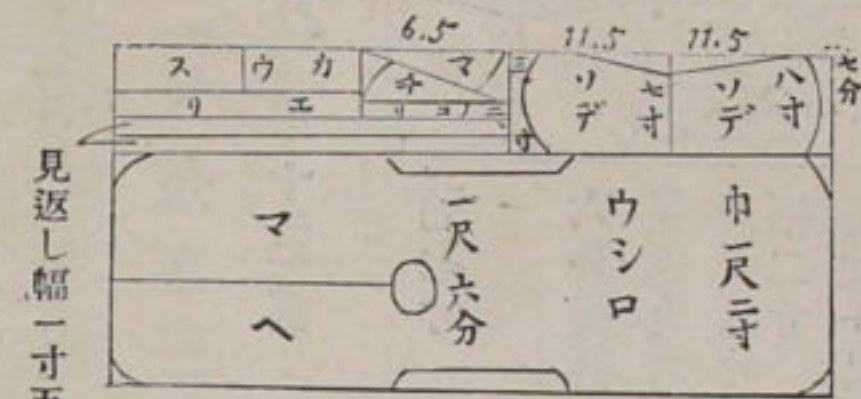
衿丈九寸

算式

$$\begin{aligned} 30, - 1, & = 29, \\ 29, \div 2 & = 14,5 \text{前丈} \\ 14,5 + 1, & = 15,5 \text{後丈} \end{aligned}$$

積方。總尺より一寸を減じ、之を二にて除せば、前丈を得、又前丈に一寸を加れば、後丈を得るなり。

圖 四 十 第



後丈二尺一寸
前尺一尺九寸
式
38, ÷ 2 = 19, 前丈

肩當なし
カフス五寸宛算
式
19, + 2 = 21, 後丈

カフス幅一寸
五分出來

總尺
40, - 2, = 38,
前後の差
19, + 2, = 21, 後丈

圖 五 十 第



袖一尺三寸
袖付六寸

前丈二尺五分
頸二寸
袷二寸五分

式
20,5 × 4 = 82,

算
袖丈
13, × 3 = 39,
82, + 39, + 4, = 125, 用布

○幅二尺、長さ四尺の布を以て十四歳位の小兒のシャツ裁方

及積方。(第十四圖)

積方。總尺より二寸を減じ、之を二にて除せば、前身丈を得、前丈に二寸を加ふれば、後丈を得るなり。

○幅八寸五分の布を以て、肩當なし、胴形シャツの裁方及積方。

積方。袖丈の三倍と身丈の四倍とを加へ、之に前後の差の四寸を加ふれば、用布を得るなり。(第十五圖)

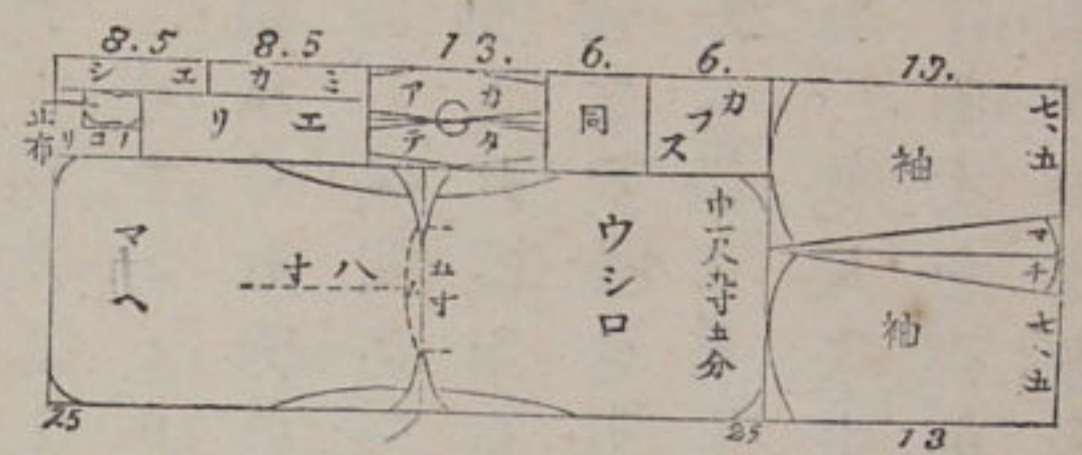
○幅二尺長さ五尺五寸の布を以て、大人肩當付シャツの裁方及積方。(第十六圖)

積方。總尺より袖丈を減じ、又前後の差の二寸を減じ、二にて除せば、前丈を得、前丈に前後の差二寸を加ふれば、後丈を得るなり

○シャツの臆の線方。(第十七圖)

寸五分) 次に袖口の所をカフスの長さだけに縫ひ縮めて、其所にカフスを縫付け、次に後身頃を取り、左右の肩或は脊の真中にてギャザーをなし、之を裏表の肩當を以て、挟みて縫ひ、次に前身頃を取り、表の肩當に縫付け、其所に裏の肩當をまつり付け、見返は前を八寸切り明けたる所に、左は表に、右は裏の方に付け、次に前明止りの處は幅五分交へて、其處に止切を付け、衿を付け、次に裾口の丸き處は五厘位の縫代になして、縫ひつめ、前後とも幅一位に三つ折りになして、馬乗より馬乗までまつり付け、次に袖を二分の縫代に、身頃を一分の縫代にして、之を縫付け、身頃の方に折りを付け、縫込の端を折りてまつり付け、次に脇縫及袖下を縫代二分位になして縫ひ、其縫目は、後身頃の方に返し、縫込の端を折りてまつり付け、次に馬乗の所及袖口に、ヒウチを入れ、次にカ

圖六十第

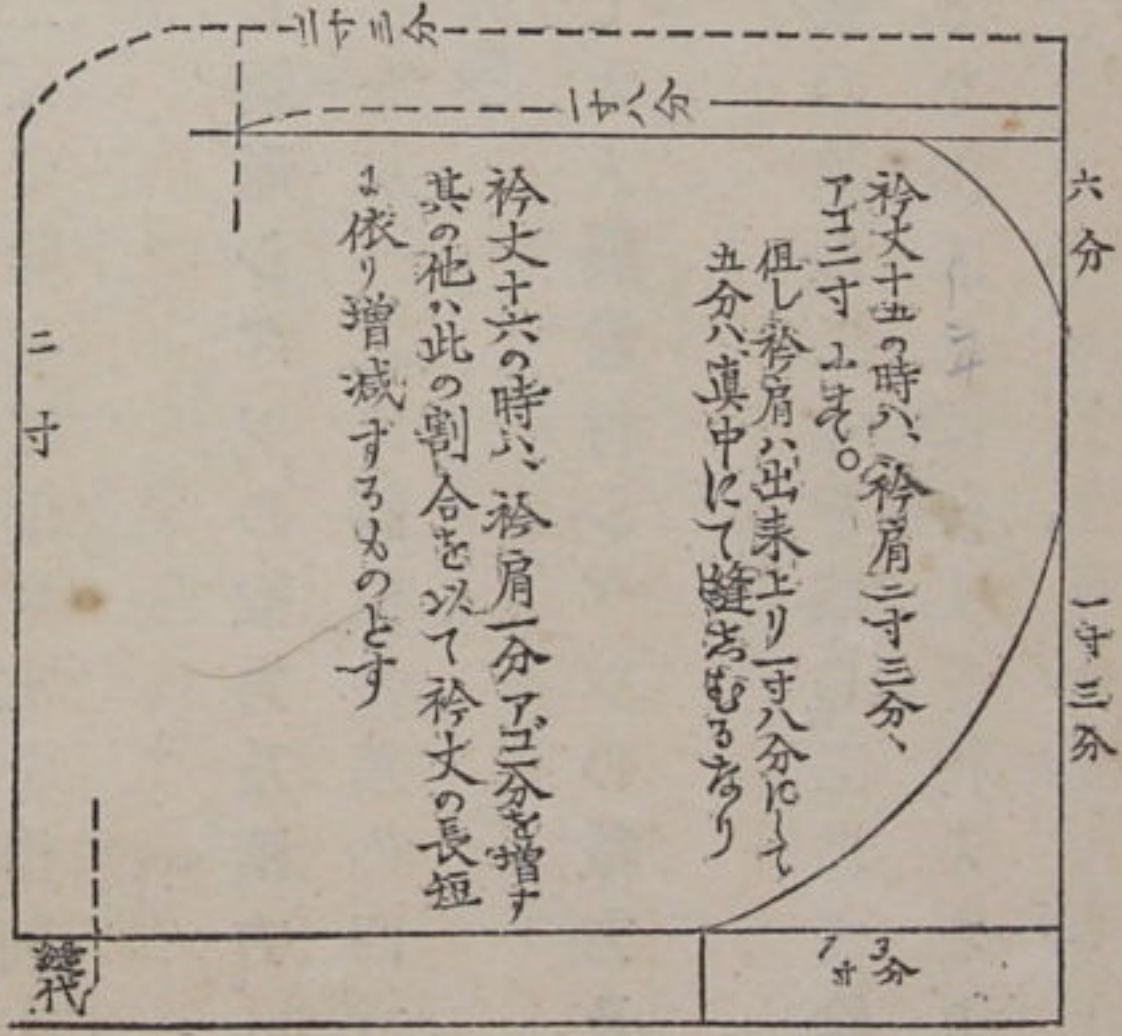


袖附形八分
袖付六寸
身の幅七分
肩の幅五分
後、五分
見返、一寸五分
分、八寸五分
丈、一寸五分
止、一寸五分
三寸五分
肩當の衿肩二寸五分
寸、二、三

算式

$$\begin{aligned} \text{袖丈} & 55, - 13, = 42, & 42, - 2, = 40, \\ 40, \div 2 = 20, \text{前丈} & & 20, + 2, = 22, \text{後丈} \end{aligned}$$

圖七十第



○シャツの縫方、
第一に袖を取り、カフスの付く所を一寸程まつり付け、(若し飾りシャツ

フスの後の左右に、三分の穴一つ或は二つ宛、及衿に一つ、見返に三つ明け、(飾)シャツの時は見返の穴は、豎に明け(穴)紐をなし、然る

後、之を疊み、壓を置くなり。

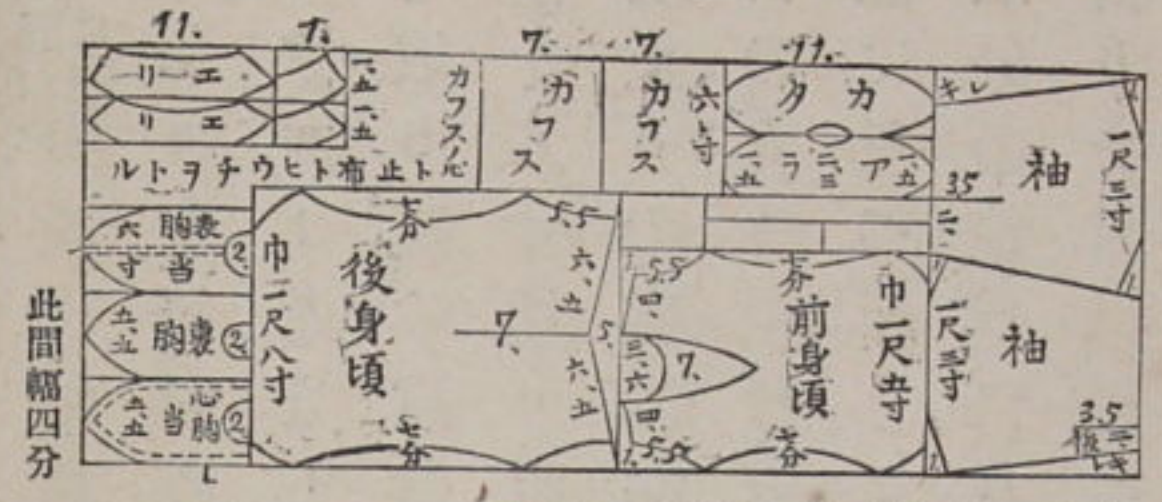
注意 ミシン縫ならば、最初假縫をなし、裏の方よりミシンを掛け、次に表より飾りミシンを掛くるなり。

○幅二尺四寸、長さ六尺九寸の布を以てホワイトシャツの裁方及積方。

(第十八圖)

積方。地質は白麻或はキャ

圖八十第



袖丈一尺五寸
前丈二尺二寸
衿肩一寸八分
顎二寸
後丈二尺二寸五分
肩當幅三寸
肩當衿肩一寸六分
肩當顎七分
胸當丈九寸五分
二分裁落ス

算式
$$(69, - (15, + 9, 5) - 5) \div 2 = 22, \text{前丈}$$
$$22, +, 5 = 22, 5 \text{後丈}$$

リユ(俗にキャラユと云ふ)を用ひ胸當、カフス及衿はキャリユのときと雖も、麻布を用ふ。(白麻即リンネンを俗にリンネルと云ふ)

○ホワイトシャツの縫方。

第一に袖を出し、後袖の三寸五分切り込みたる所に見返しと持出し、の布を縫付け、袖幅の狭き方を持出しとなし、幅の廣き方を見返しとなし、上り幅五分となして、飾ミシンを掛け、次に袖下を袖口の方にて少しく縫ひ置きて、袖下を揃へて袖山にてギャザ一をなして、カフスの丈に縫ひ縮め、其所にカフスを縫付け、(其時に心の布も共に縫付け)裏の方は躰糸にておさへ、飾ミシンを掛け、前後の身頃の裾口を三つ折になして、馬乗印より馬乗印の所までまつり付け置き、次に後身頃の七寸切りたる所に袖と同じく、持出しと見返しとを縫付け、上り幅五分になして、左を見返し

に、右を持出しとなしてミシンを掛け、次に持出し及見返しに接してギャザーして、肩當の長さだけに縫縮め、次に裏表の肩當にて後身頃を狭みて縫付け、次に止布を裏表縫合せ、引返し表より飾ミシンを掛け、丈の中央に三分の穴を豎に明け、穴縫をなし、前身頃の切落したる中央に綴付けて置き、次に表胸當の中央を二分摘みて上を右に持ち、手前の表になる様に飾ミシンを掛け、次に前身頃の表にて中央を切りたる所に胸當の心と表胸當とをあて、裏の方に裏胸當をあて、飾ミシンを掛け、次に前身頃を表の肩當に縫付け、裏にてまつり、飾ミシンを掛け、次に小衿を、一枚は表衿の下前の端の方に、一枚は裏衿の端に縫付け、次に裏表の衿を合せて心も共に縫ひ、引き返して表衿を身頃に縫付け、裏衿にてまつり、飾ミシンを掛け、但下前衿先即右後は二枚別々なり。次

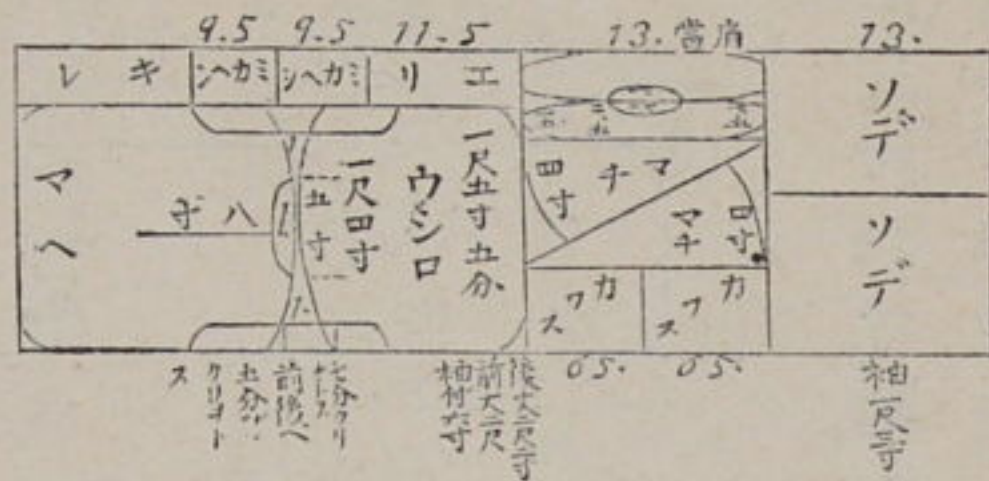
に袖を付くるには袖を二分縫代に、身頃を一分縫代になして縫付け、身頃の方に折を返し、縫込の端を折りてまつり付け、次に脇縫も袖下も後ろを一分、前を二分の縫代にして縫ひ、其縫目は後身頃の方に返し、縫込の端を折りてまつり付け、次に身頃の馬乗にヒウチ布を縫付け、次にカフスの山より七分下り、端より二分五厘入りて三分の穴を横に前後共明け、衿先に左右共一つ宛、但下前は二枚の上の方にのみ明ける。前は衿の中央に、横に一つ、胸當には飾ミシンより二分離れて衿の縫目より明きの止まりまでを三分分して二つ豎に明け、次に止め切に豎に一つ、左肩當幅の中央に横に一つ明け、穴縫りをなし、正しく疊みて壓を置くなり。

○幅二尺、長さ四尺の布を以て、大人シャツの裁方。(第十九圖)

○幅一尺八寸、長さ六尺五寸の布を以て、シャツ裁方及積方。(第廿圖)

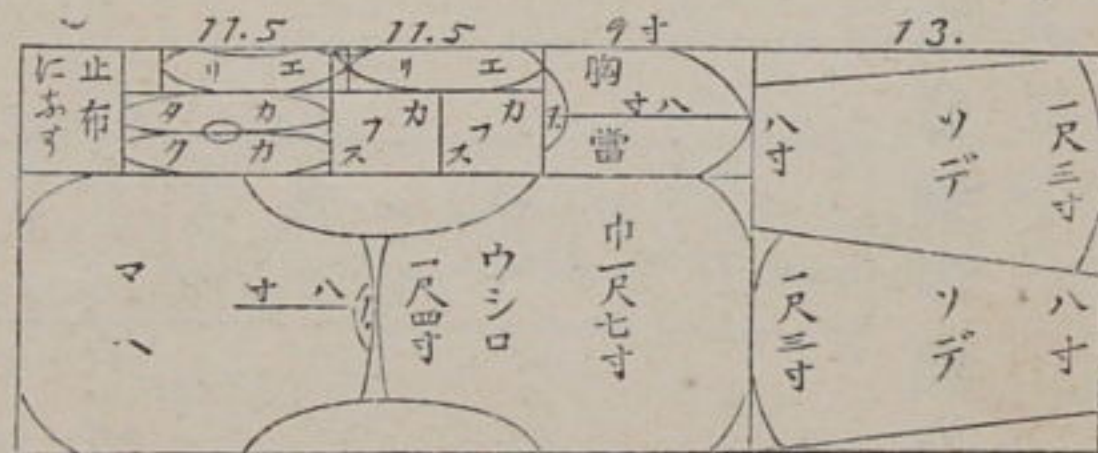
○幅二尺、長さ五尺五寸の布を以て、太鼓胴シヤツの裁方及積方。
 (第廿三圖)

圖一十二第



算式
 $13, + 20, = 33,$
 $33, \times 2 = 66,$
 $66, + 2, = 68, \text{用布}$

圖二十二第

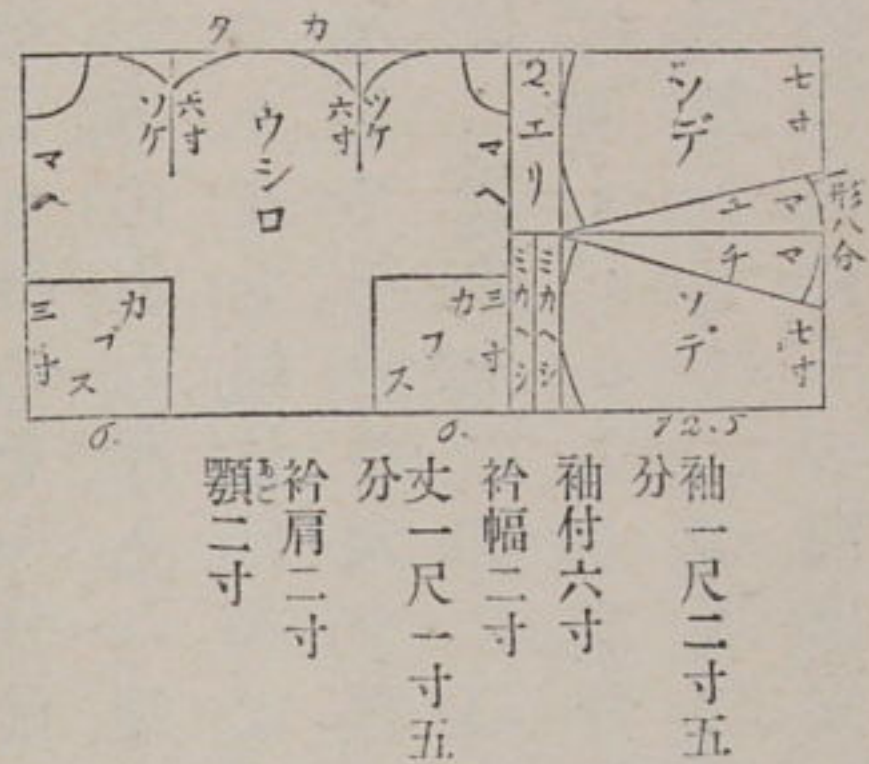


袖一尺三寸
 衿幅二寸
 衿丈一尺一寸五分
 カワス幅五寸
 丈六寸
 肩當幅二寸五分
 分丈一尺三寸
 後丈二尺二寸
 袖付の裁落幅
 一寸五分
 前丈二尺

算式
 身丈 $20, \times 2 = 40,$
 袖丈 $40, + 13, + 2, = 55, \text{用布}$
 後丈の長

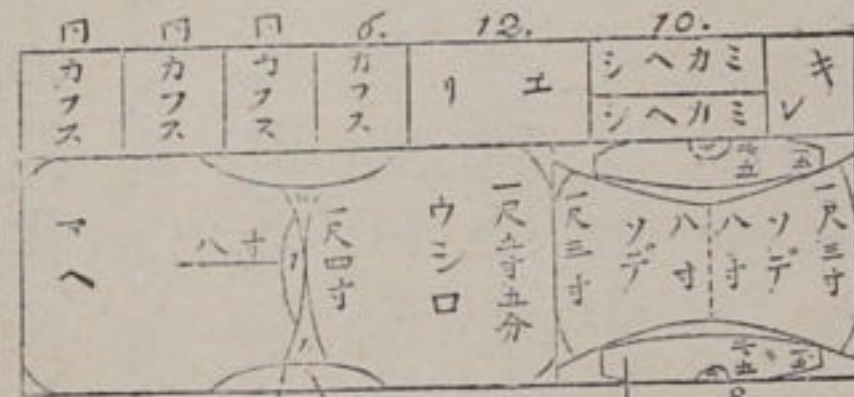
○幅二尺四寸、長さ五尺五寸の布を以て、胸當附シヤツの裁方及積方。
 (第廿二圖)

圖九十第



袖一尺二寸五分
 分
 袖付六寸
 衿幅二寸
 丈一尺一寸五分
 衿肩二寸
 額二寸

圖十二第



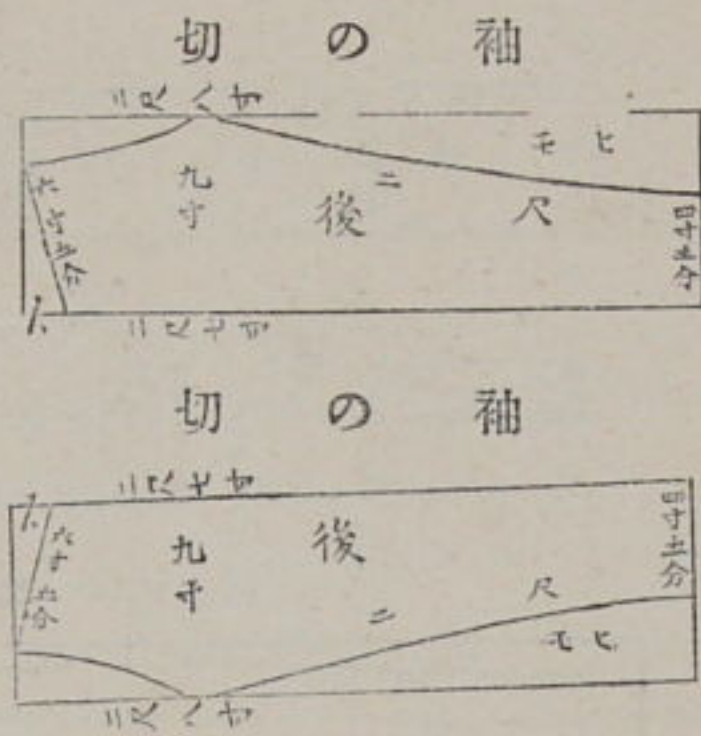
袖一尺二寸五分
 分
 衿肩左右二寸
 肩當一尺三寸
 後丈二尺一寸
 七分線落す
 前後に五分づ
 線落す
 前丈一尺九寸

算式
 $12,5 + 19, = 31,5$
 $31,5 \times 2 = 63,$
 $63, + 2, = 65, \text{用布}$

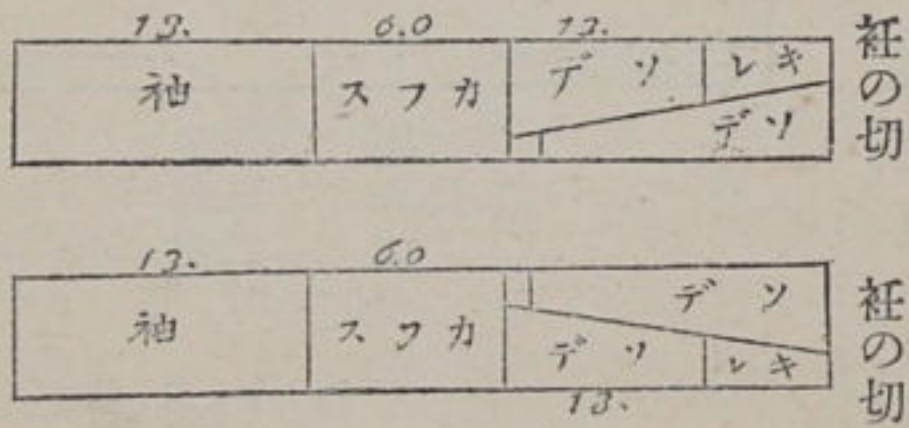
○幅一尺七寸、長さ六尺八寸の布を以て、シヤツ裁方及積方。
 (第廿一圖)

- 幅九寸五分、長さ一丈五寸の布を以て、シヤツの裁方及積方。(第廿八圖)
- 幅二尺、長さ五尺二寸の布を以て、シヤツの裁方。(第廿九圖)
- 幅二尺三寸、長さ四尺五寸の布を以て、シヤツの裁方。(第卅圖)

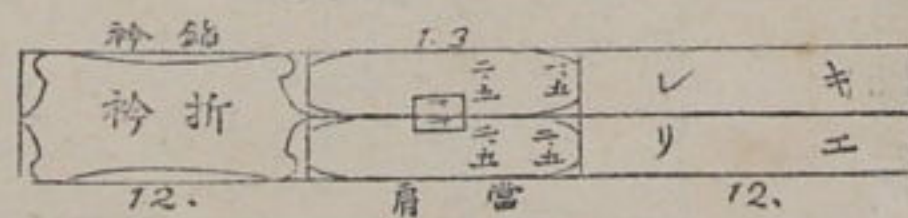
圖五十二第



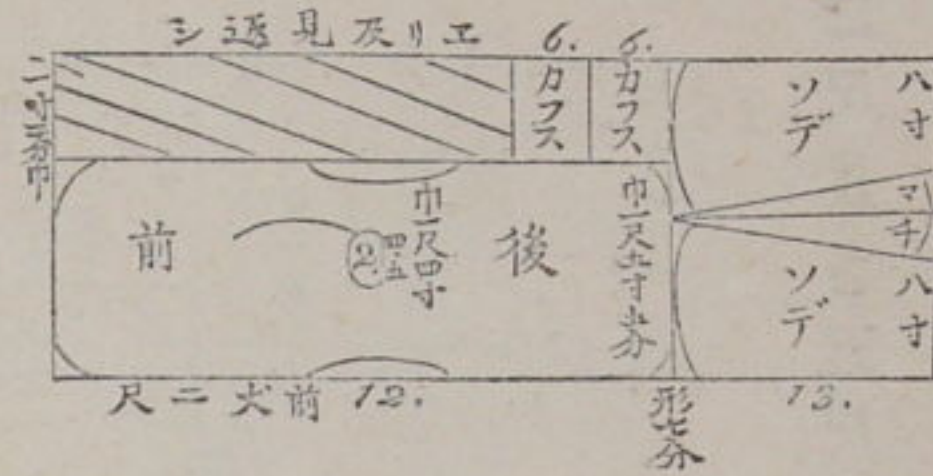
圖六十二第



圖七十二第
切の衿



圖三十二第



算式

$$\begin{aligned} \text{總尺 袖丈} & 55, - 13, = 42, & 40, \div 2 = 20, \text{前丈} \\ & 42, - 2, = 40, & 20, + 2, = 22, \text{後丈} \end{aligned}$$

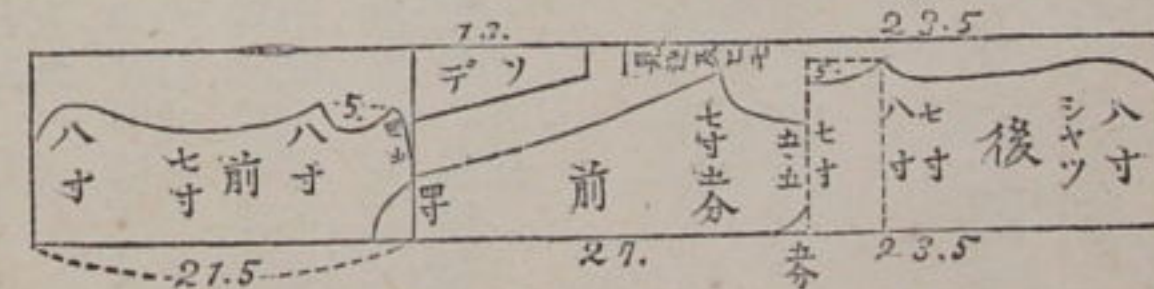
圖四十二第

布の頃身



下肩衿

頃身



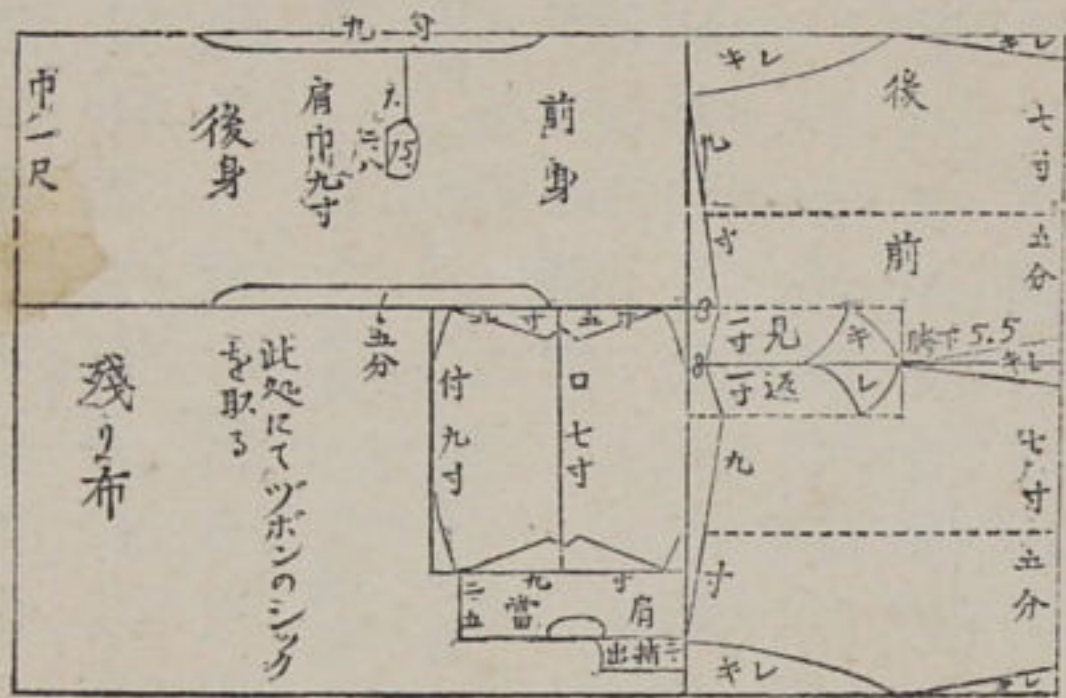
衿肩二寸
五分
顎一寸

- 身丈三尺六寸、袖丈一尺四寸の古着物の表を以てシヤツ及ツボン下の裁方。(第廿四圖—第廿七圖)

九寸。

持出布丈は、肩幅に依りて定むるものなり、(凡五寸五分、

圖一十三第



算式
 $11 \times 2 = 22$,
 $22 + 13 = 35$, 用布

とツボンとの裁合方及積方。

地質は重に白キヤリコを用ふ
 裁切寸法。

ツボン。

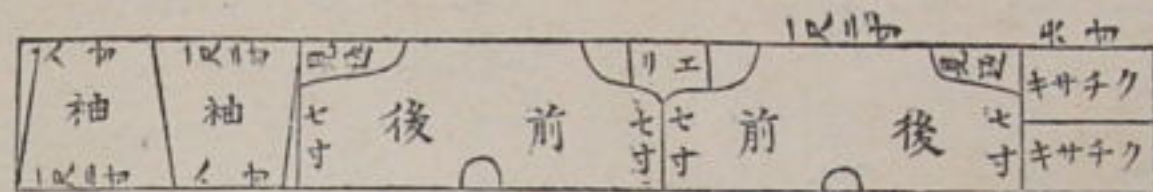
膀上七寸五分、 膀上幅九寸、
 膀下五寸五分、 裾口幅七寸五
 分、 見返幅一寸。

シャツ。

身丈一尺一寸、 身幅一尺、 衿
 肩一寸四分、 顎一寸五分、 袖
 丈五寸。 肩當幅二寸五分、 丈

○幅二尺四寸、長さ三尺五寸の布を以て、五六歳の運動シャツ

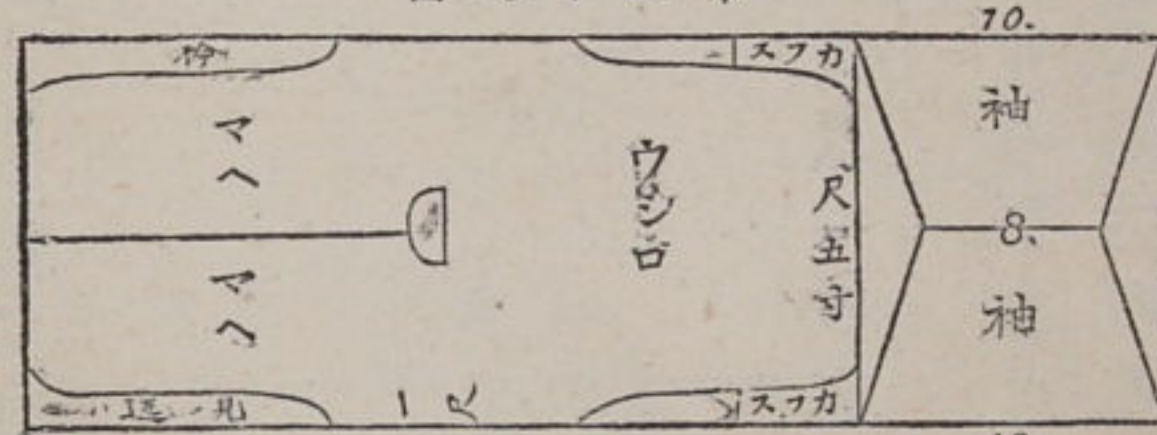
圖八十二第



算式
 袖丈 後丈の長さ 總尺
 $12 + 6 + 2 = 20$, $105 - 20 = 85$,
 $85 \div 4 = 21$, 前丈 $21 + 2 = 23$ 後丈

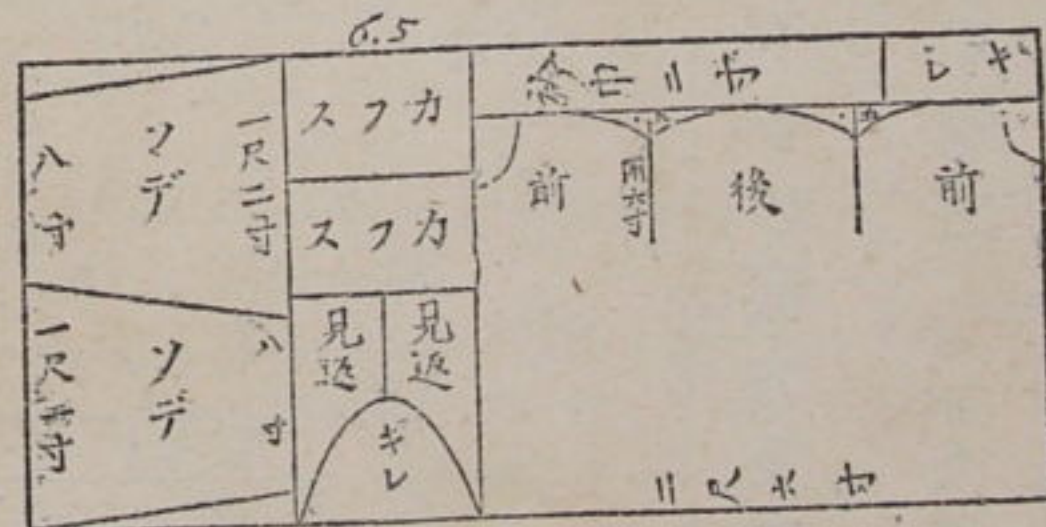
前丈一尺九寸
 五分
 衿二寸五分
 顎二寸

圖九十二第



二前身丈
 二後身丈
 二尺二寸

圖十三第



袖丈一尺
 二寸五分
 衿二寸
 顎二寸

幅一寸五分。

附言。飾に毛縁を附くるなり、其箇所は袖口に二本、身の衿肩より顎の部分に二本、ツボンの裾口に二本、丈の方は、幅の中央より前に寄りたる所に二本付くるなり。

注意。毛縁は縦横とも伸縮自在なれば、始に両端より引張り置き、裏より糊を付け、糊の付きし方を裏と定めて乾かして後用ふ。

○シャツの縫方。

第一に袖口を縫代だけ、表に折返して、其上に毛縁を一本付け、兩端にミシンを掛け、次に縁の幅だけ間を置いて、奥の方に又一本綴付けて、ミシンを掛け、次に身頃の表に、肩當布をミシンにて縫付け、次に下前の肩山より一寸下りて、身丈を切りし所に持出布一枚を身に縫付け、裏にてまつり縫をなし、次に首の廻りを縫代

だけ表に折返し、其所に縁を二本袖口の如く付け、次に袖を付け、折は身の方に返し、縫込の端を折りてまつり付け、次に脇と袖下とを縫ひ、(但右脇は裾口より一日程縫ひ残り、細く三つ折りにしてまつり縫をなす)折りは残らず後に返し、縫込の端を折りてまつり付け、次に裾口を始め、丈を一分裏に折返し、次に一寸縫ひ残せし所まで折り返し、其中に長さ二尺五寸位のテープを通し、テープを縫付けぬ様になして、裾口をまつり付け、次に一寸縫ひ残せし所に門止めをなし、次に左肩の首廻りの毛縁の間に、豎に一つ穴を明け、次に肩幅の中央にも豎に一つ穴を明け、穴縫をなし、左前身頃の持出しの所に釦を附くるなり。

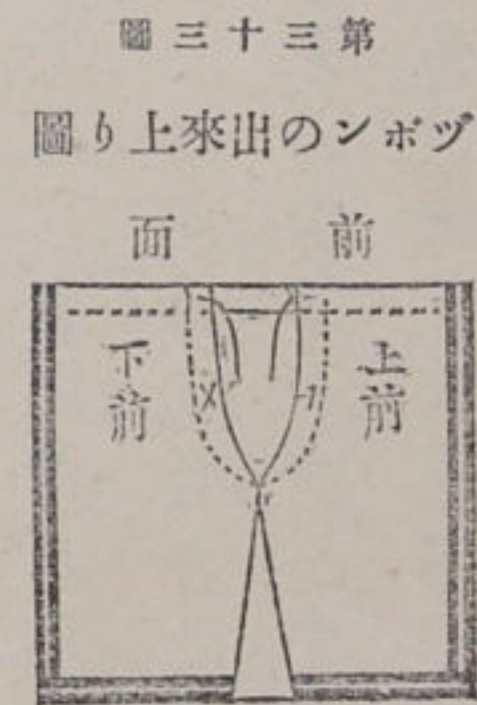
○ツボンの縫方。

第一に前膀上を、膀下止めより一寸五分上りし所より、上にて見

返しの端を幅二分裏に折返し、次に幅一寸の點線の所より裏に折返し、表よりミシン縫をなし、(但左右共)次にシツクの丸き所を、一分縫代に裏に折返し、後布に合せて裏の方に當て、今折りたる所をまつり付け、次に前後の幅の中央と、毛縁幅の端とを揃へて、前の方に上より付け始めて、裾口より一寸上りし所まで豎に一本付け、それより縁幅だけ間を置きて、又一本付け、縁の兩端をミシン縫をなし、次に裾口を始め、丈を二分表に折返し、其所に毛縁を一本付け、次に縁幅だけ間を置きて、又一本付け、此縁の下に豎に附けたる縁の先の裁目を見えぬ様になし、次に縁残らずにミシン縫をなし、次に後の膀上を縫合せて縫目を割り、縫代の端を折りてまつり付け、(但シツクの縫込は縫ひたる糸より少しく離れし所より切り取るなり)次に前膀上見返し丈の止りより、下

寸五分の所を左右縫合せ、縫目を割り、縫込の端を折りてまつり付け、次に前後の膀下を合せ、縁の合ふ様に注意すべし、て縫ひ、折りは前に返し縫代の端を折りてまつり付け、次に上の裁目即胴廻りの所にて、始め、丈を二分裏に折り返し、次に丈を七八分折返し置き、下前見返し幅の中央にて、丈を裏に折返したる所を山になし、それより四分下りし所を中央とし、裏に折返したる方に明けぬ様になし、表だけに菊坐穴を一つ明け、穴縫をなし、其穴より長さ二尺五寸のテープを通し、一方の端は上前の先きに出し置きて裏に折返したる所をまつり付け、次に穴を明くるなり、其明け方は上前見返し丈を三等分して、下より三分の一の所に横に一つ明け、穴縫をなし、下前に釦を付け、前膀上を一寸五分縫ひた

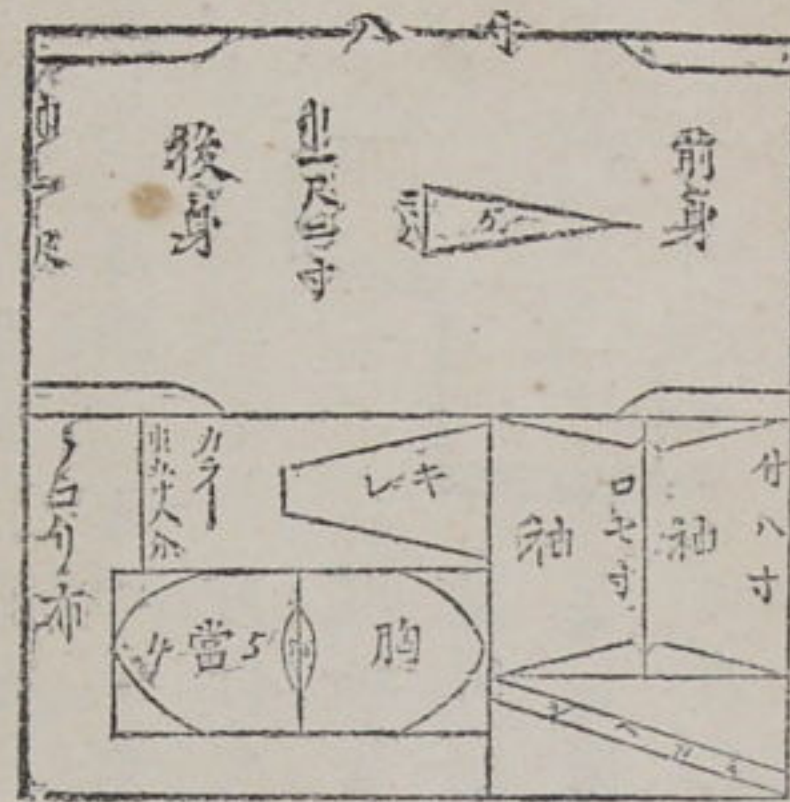
る止りの所に門止めをなすなり。



○幅二尺四寸、長さ二尺二寸の布を以て、水兵服形運動シャツの裁方。但ツボンは前記の分と同様なれば略す。(第三十四圖) 裁切寸法。

身丈一尺一寸、身幅一尺二寸、衿肩一寸四分、顎五寸、袖丈四寸五分。

圖四十三第



カラ一の丈は、袖付四寸五分と腮の五寸と縫代の五分とを加へしもの即一尺、幅は衿肩一寸四分の四倍に縫代の五分を加へしもの即六寸一分、見返幅五分、丈一尺三寸五分、(但布を斜に裁つ)、胸當布幅四寸五分、丈四寸五分。

○毛縁を附くる場所。

袖口に二本。胸當に二本或は三本。カラ一に二本。

注意。以上の寸法に基き、年一歳を増す毎に、幅も丈も一寸づゝ増し、ツボンの方は丈一寸増したる時は、膀上にて二、三分増し、膀下にて七八分増すなり。

○シヤツの縫方。

袖口に毛縁を付け、次にカラーの角の所にて三方を(衿肩を)残し、表に一分折返し、毛縁を付け、次にカラーの毛縁の附かぬ所と、身頃の衿肩及腮おぼろの所とを合せ、斜の見返し布と身頃にてカラーを挟みて縫付け、見返し幅を上り二分になし、カラーに針を通さぬ様になして、身頃にまつり付け、次に胸當布を一枚出し、幅の廣き方にて、裏と縫合す時の縫代を、二分に取り、其所より下に毛縁を三本付け、次に胸當を裏表縫合せ、引き返して表よりミシン縫をなし、次に前身頃の肩山より一寸八分下りて、身の裏にて左前身にまつり付け、右は胸當の上部に大きき三分位の門止かんねきどを一つな

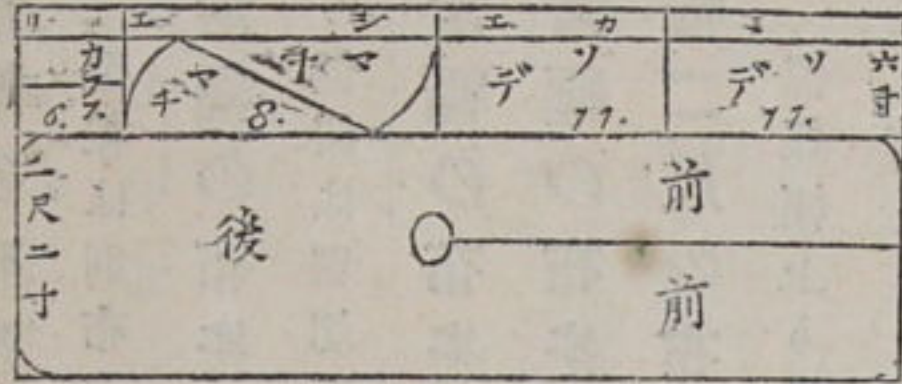
圖五十三第
圖り上來出
面 前



し、胸當丈の中央にも一つなし、此門止に合せてフック(俗にホック)と云ふを右前身頃の裏に附く、其他は前記の分と同様なり。

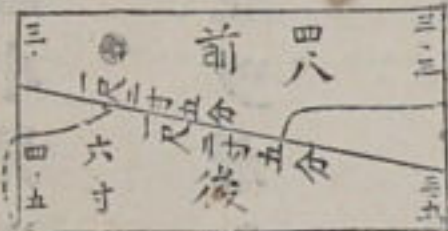
○幅二尺長さ一ヤード半の布を以て、仕入シヤツの裁方。(第卅五圖)

圖五十三第



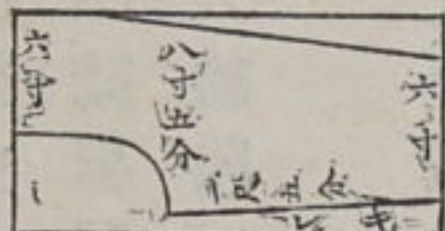
前丈一尺
七寸
後丈一尺
九寸
衿肩二寸
額二寸

圖七十三第



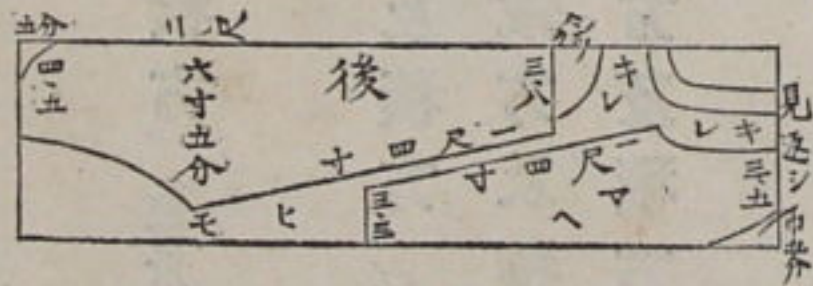
算式
丈 17,5 × 2 = 35, 用布
寸 三紐
尺 丈
五

圖六十三第



式
丈 16, × 2 = 32, 用布
五丈り紐
寸三五幅
尺五分上

圖八十三第



算式
丈 20, × 4 = 80,
80, - 20, = 60, 用布
裁込 尺

紐幅五分
丈四尺
丈二尺

○常幅の布を以て、三四歳小兒ツボン下の裁方及積方。(第卅六圖)

但紐は別布を用ふ。

○常幅の布を以て、七八歳ツボン下の裁方及積方。(第卅七圖)

但紐は別切を用ふ。

○常幅の布を以て、十歳前後ツボン下の裁方及積方。(第卅八圖)

○常幅の布を以て、十三四歳男兒ツボン下の裁方及積方。(第卅九圖)

○幅二尺の布を以て、大人紐附ツボン下の裁方及積方。(第四十圖)

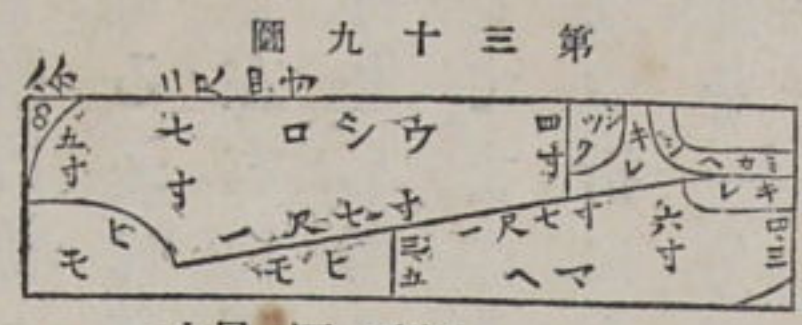
但紐幅上り五分、丈五尺。

○幅八寸の布を以て、大人ツボン下の裁方及積方。(第四十一圖)

後幅の足しは落し切を繼ぐなり。

積方。丈二尺八寸の四倍に、後ろの形の二寸を加へて、用布を得るなり。

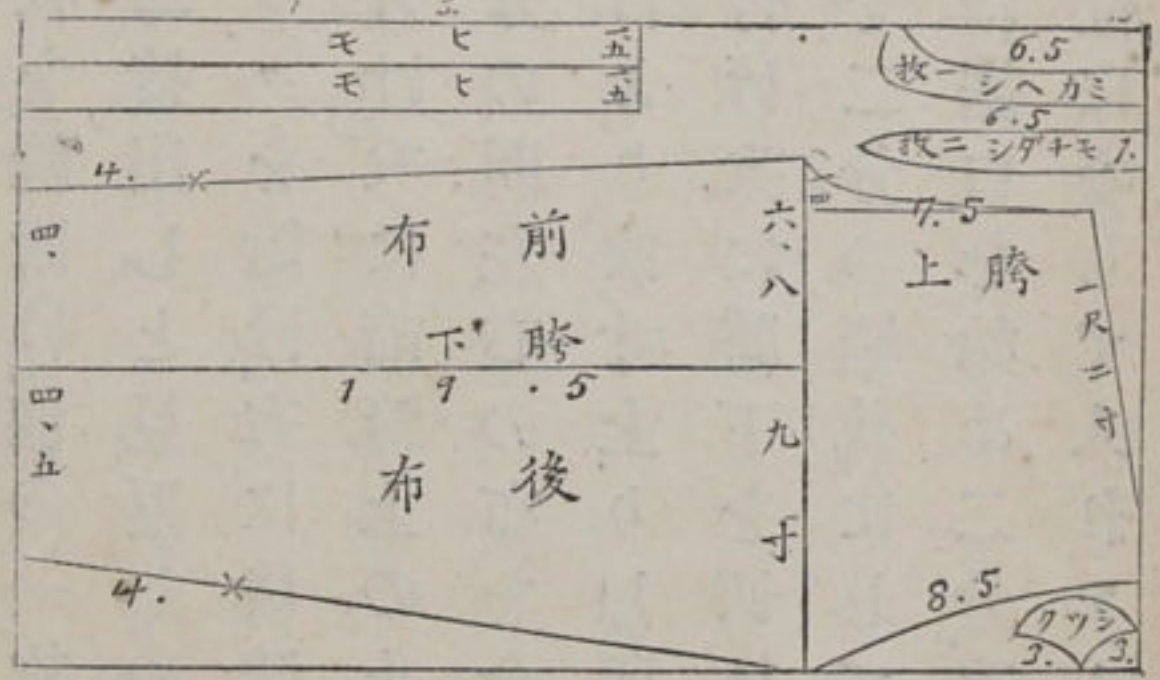
丈二の折
になして
裁つ圖。



紐丈四尺
幅五分
見返幅一
寸二分

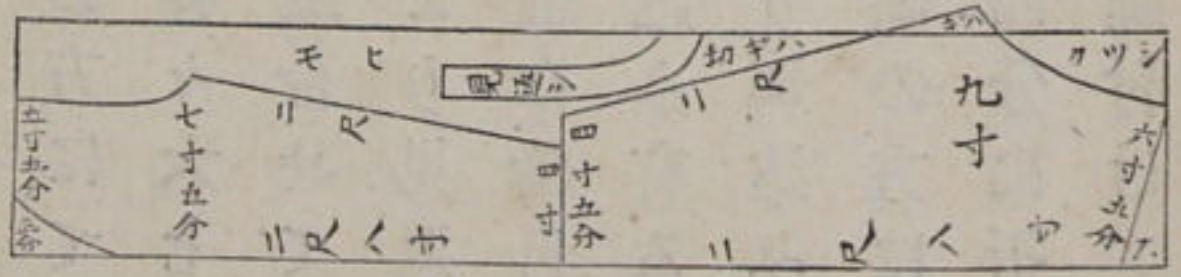
算式
丈 24, × 4 = 96,
96, - 16, = 80, 用布
裾口の裁込

圖十四第



算式
膊下 後膊上
19,5 + 8,5 = 28,
28, × 2 = 56, 用布

圖一十四第



算式
丈 28, × 4 = 112,
112, + 2, = 114, 用布
後の長さ

○紐附ツボン下の縫方。(一) (但總て返縫)

第一に持出し布を縫合せ、次に前膊上の左の方に見返しの下端

を膝下止りより一寸五分上りし所より縫付け、表の方に返して飾ミシンを掛け、(但見返しは裏に出すも良し)次に右の方は今縫ひし持出しの布の表一枚を縫付け、他の一枚は裏の方にてまつり付け、飾ミシンを掛け、(即持出しの見返しの幅は各々六七分になる)次に後身の裏にシツクを付け、次に後膝上を縫合せて縫目を左右に割りてまつり付け、次に前膝上の止まりより見返しの付きし所まで、即一寸五分の間左右の布を合せて縫ひ、縫目を割りてまつり付け、次に裾口より四寸上りし所に切込み有る所を三つ折になしてまつり付け、次に膝下を切込みより切込みまで、前を一分の縫代に、後ろを二分の縫代にして縫ひ、前の方に折りを返してまつり付け、次に裾口を、始め二分、次ぎを四分に折り、中にテープを丈一尺五寸位になして入れ、テープを縫付けざる様

になしてまつり付け、次に腹廻りの所に前後の幅を三等分なし、後より三分の一の所に五分の稜を一つ取り、次に残布にて幅五分、丈二寸のものを左脇の上部にて、丈の止まりより下の方にて裏に一枚或は二枚あて、其廻りを假りに縫ひ、其中央にて紐を附くる時の縫代を取りて一寸の穴を豎に明け、穴紐をなし、後、あて布を切り取り、次に紐丈五尺の内、左の方に七寸出して、表の方に縫付け、紐幅上り五分になして、兩端を縫ひ、裏の方にてまつり付け、次に前の持出しと見返しとを重ねて門止めをなし、膝下にて四寸縫ひ残したる所と、左脇に一寸の穴を明けし所と、紐を附けし縫目の所とに門止めをなし、次に釦穴は上前の方にて、上より一寸取り置き、其残りを三等分して横に二つ明くるなり。

○紐附ツボン下の縫方。(二)

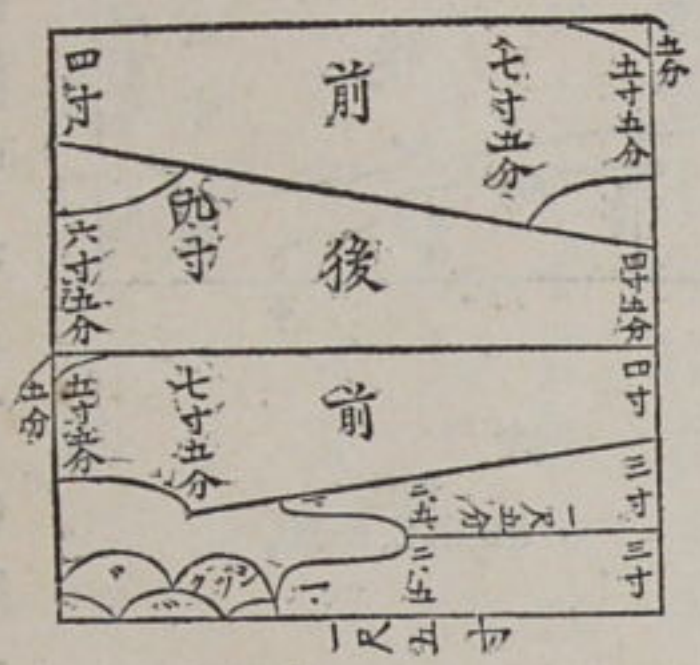
第一に前身の表の方に左右共見返しを付け、まか膀上は、かみ膀下止りより一寸五分の間四つ縫になし置き、次に後身にシツク、即しり尻當を付け、次に後ろの膀上を返縫になし、その縫込は、左右に開きて端を折り、之をまつり付け、次に左右の脇を返縫になし、その縫込は、前身の方に折りを付け、端を折りてまつり付け、次に内膀の裾口左右を四寸づゝ残して、其他を縫ひ、前身の方に折りを付け、端を折りてまつり付け、次に縫ひ残したる四寸の處を、幅一分づゝ三つ折りになして、まつり付け、ヒウチを入れ、次に裾を幅四分位にまつり付け、丈一尺五寸のテープを通し、次に紐ならば之を付け、腰廻り釦掛ならば、腰廻の布を付け、裾口も釦掛ならば、見返しを付け、又紐ならば、前の左の見返しに穴二つ明け、釦掛ならば、左腰廻の後ろの真中に一寸の穴を豎に明け、左右の端に釦穴一つ

宛を明け、腰廻の上前の方に、三分の穴三つ明け、穴縫をなし、疊み置くなり。

注意。グシ縫、ミシン縫等にもすることもあり。

○幅一ヤード、長さ三ヤードを以て、腰廻附ツボン下二足の裁合方及積方。
(第四十二圖)
(第四十三圖)
(一ヤードハ鯨尺二尺四寸、曲尺)
(三尺、鯨二寸四分を一分といふ。)

圖二十四第
 圖つ裁てしなに折つ二丈



丈二尺五寸

圖三十四第

圖つ裁てしなに折つ二幅

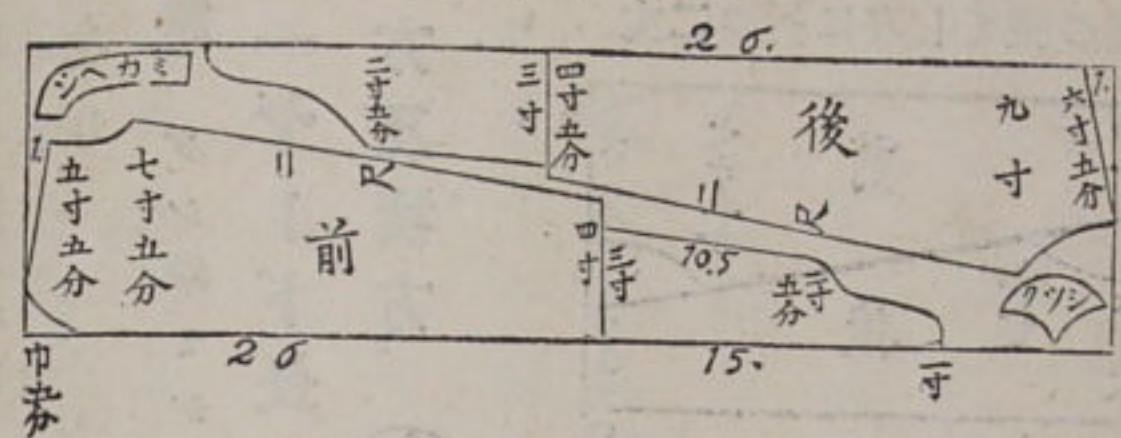


丈二尺五寸

○腰廻附ツボン下の裁方及積方。

(第四十四圖)
(第四十五圖)

圖四十四第



算

$$26, \times 2 = 52,$$

$$50, + 1, = 51, \text{用布}$$

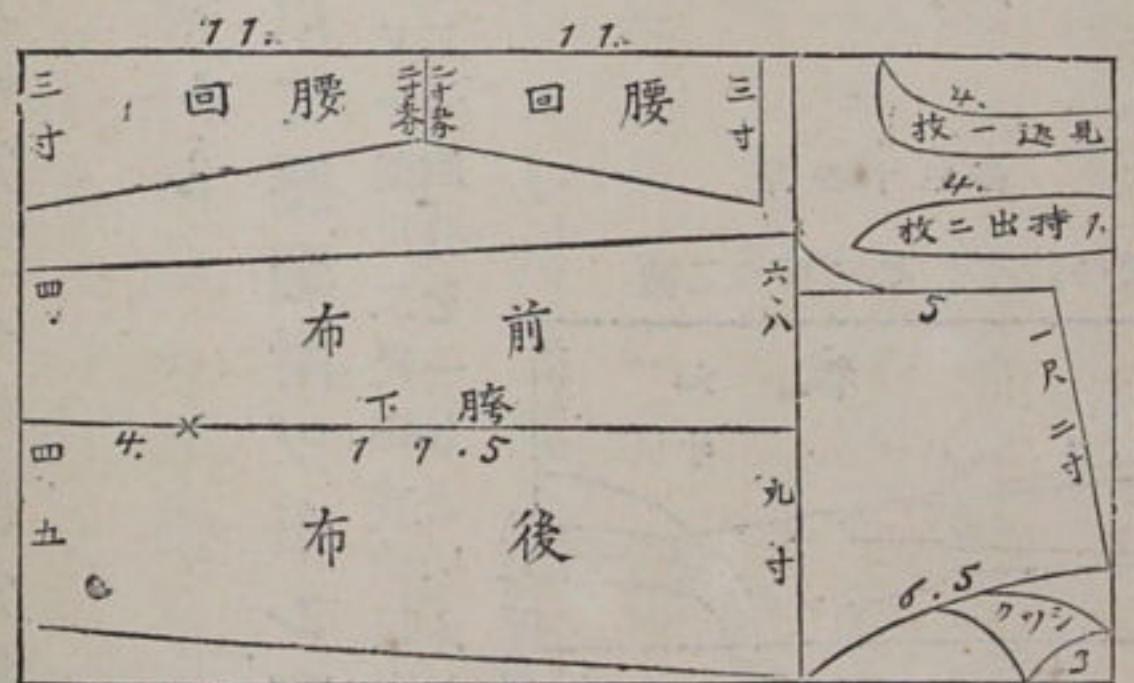
後の長さ

式

$$52, - 2, = 50,$$

裁込

圖五十四第



算

$$19,5 + 6,5 = 26,$$

膝下 後膝上

式

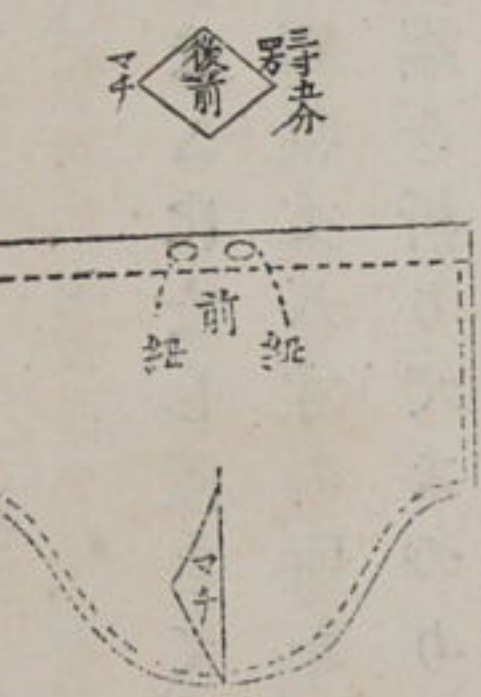
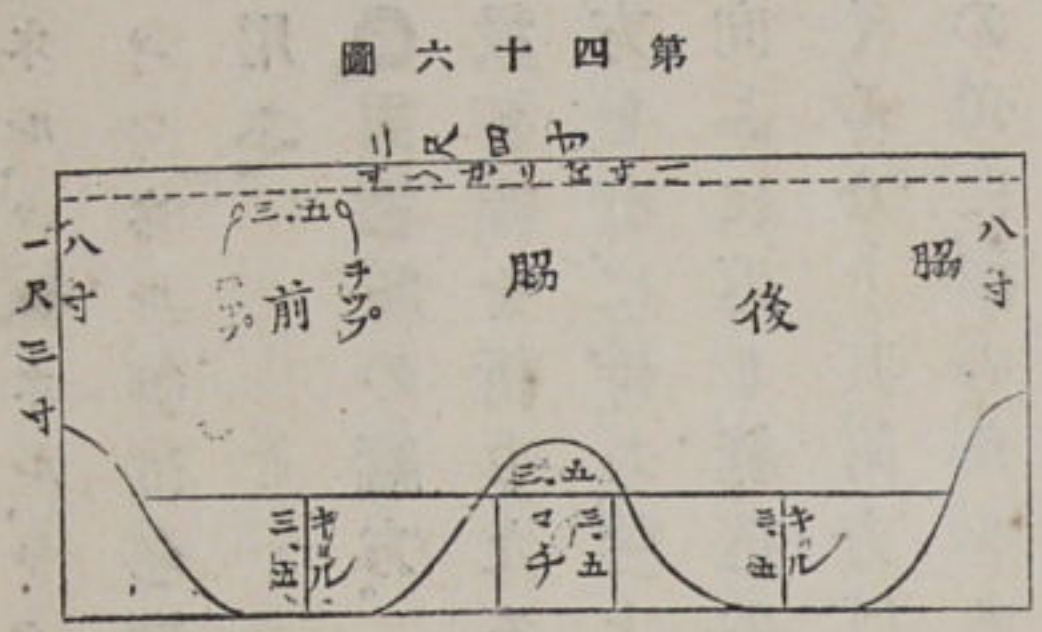
$$16, \times 2 = 32, \text{用布}$$

○腰廻附ツボン下の縫方。(但返縫)

第一に持出し布を縫合せ、次に前膝上の左の方に、見返し布を一
寸五分切り込み有る所より、上の方に縫付け、表の方に返して、飾
ミシンを掛け、次に右の方は今縫ひし持出し布を表の方に縫付
けて、裏の方にてまつり付け、飾ミシンを掛け、持出しと見返しは
幅上り六七分になす、次に後膝上を、上より二寸縫ひ残して縫合
せ、縫目を左右に割り、縫込の端を折りて、まつり付け、二寸の所も
三つ折りになしてまつり付け、次に前膝下の止まりより見返し
の所まで即一寸五分の間左右の布を合せて縫ひ、縫目を割り、縫
込の端を折りてまつり付け、次に膝下を、前を一分、後を二分の縫
代になして縫ひ、前の方に折りを返してまつり付け、次に脇の所
に裾口より四寸上りし所の切込にテープを丈八寸五分位に切

りて、テープの中央を切込の中央にあて、其中央より裾まで表の
 方に付け、次に裾口は丈を二分表に折り返し、テープを長さ一尺
 五寸になし、丈の中央と胯下の縫目とを揃へ、残りし分は、四寸の
 切込の所より両端に出し置き、テープの両端に表より飾ミシン
 を掛け、次に腹廻の所を、後胯上二寸明けし所より、前の方に腹廻
 幅一尺二寸の三分の一の所に、五分の稜を左右に一つ宛取り置
 き、腰廻の身頃に縫附くる方、即斜の所のみ残して廻りを縫ひ、次
 に腹廻の表の方に縫付け、(但腰廻幅三寸の所は前になし、二寸五
 分の所を後胯上幅の中央になす)裏の方にまつり付け、次に飾ミ
 シンを掛け、次に前持出しと、見返しの下端とを重ねて閉止めを
 なし、次に後胯上の二寸明きし所にも閉止めをなし、次にシツク
 をまつり付くるなり、其付け方はシツクの胯上に當る所を縫合

せ、縫目を割り、後布の裏にて今縫ひたる縫目と、後胯上の縫目と
 を揃へて外側に丸く裁ちし所と胯下に當る所とをまつり付く
 るなり、釦穴は上前腰廻幅三寸を四等分なして、横に三個明け、上
 前胯上を三等分なして、



同出来上りの圖

- 猿胯の裁方。(第四十六圖)
 - 男猿胯の地質。
- メリヤス、フラン

四四
ネル、メンネル、キヤリコ、金巾、木綿、但裏毛のメリヤス、フレンチネル、メンネル等は冬期に着用す。キヤリコ、金巾、木綿等は多く夏期に用ふ。

○男猿勝の縫方。

最初幅を折りたるまゝになし置きて、一方の裁目の所は勝上の方を右に持ち、勝上即脇丈八寸の所を返縫になし、折りは自己の向ふに返し、縫込の端を折りてまつり付け、次に勝に角襠を縫付くるなり、其附方は、身頃の前後の中央に三寸五分切り込みし所の角に、襠の角をあて、襠の布を一分先に出して四方を縫付け、身の方に折りを付け、縫込の端を折りてまつり付け、次に裾口を細く三つ折りになして、まつり付けるなり、次に勝上の丈の端を始めに二分裏の方に折り、次に又七八分に折りて、裏の方は返して

見返しとなし、前の中央より左右に一寸五分距れて、菊座穴を表布のみに明け、穴縫をなし、其穴にテープを通し、見返しを表にまつり付けるなり。但テープ丈三尺五寸。

○女猿勝の地質。

地質。 フレンチネル、メンネル等は冬期に用ふ。

キヤリコ、金巾、木綿縮、晒等は重に夏期に用ふ。

○幅二尺四寸、丈一尺六寸の布を以て、女猿勝の裁方。

(第四十七圖
—第五十一圖)

但單にして脇明きより一寸上りし所より下は裕になす。

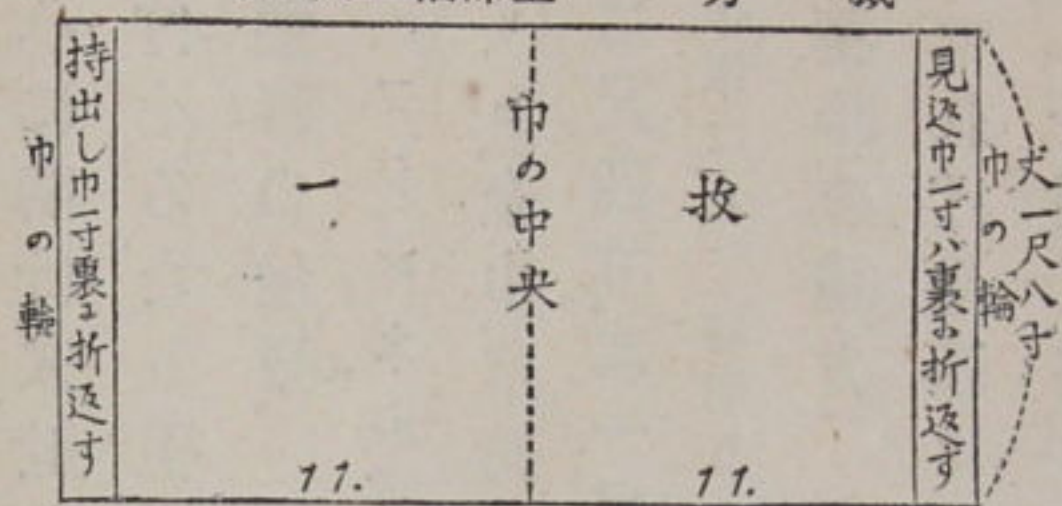
○女猿勝の縫方。

(但勝の所は裕にて勝上は單になす。)

裕なれば全體に裏を付く、單にて裁目の處に斜の切を以て見返しを付くるもよし。

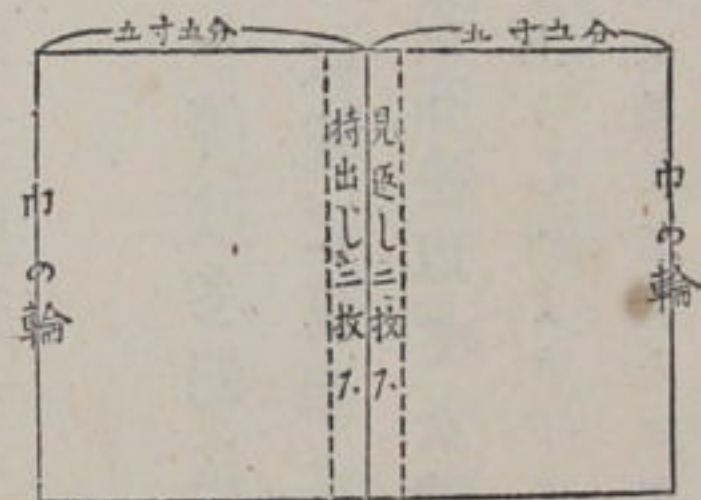
第一に別布を以て、脇明き止りより一寸程上りし處より下を、身

圖七十四第
裁方上部幅二尺四寸



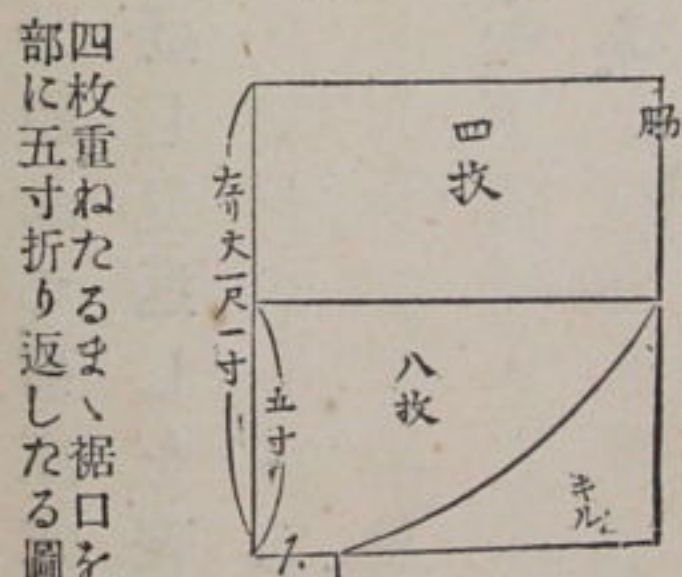
口裾

圖八十四第

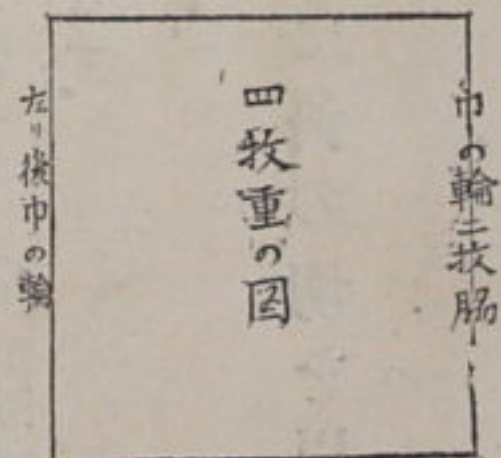


圖十五第

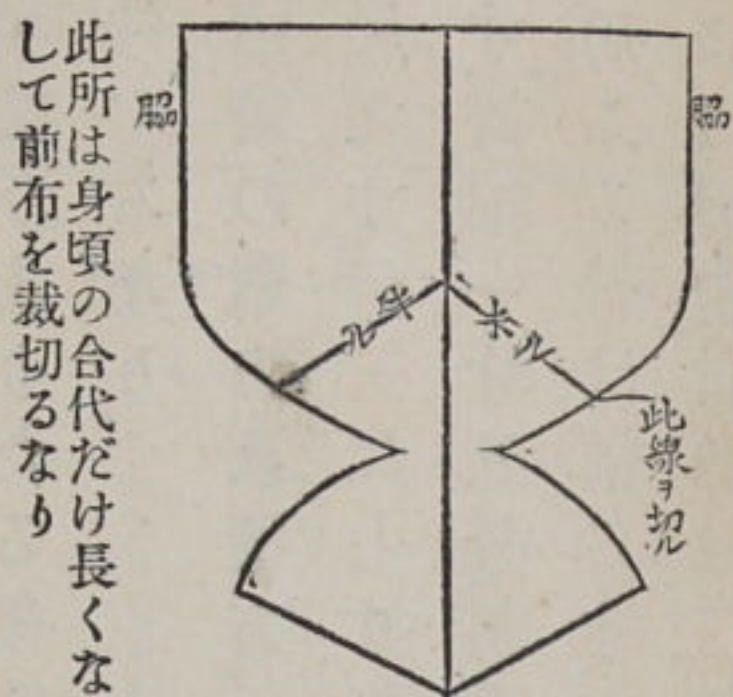
圖九十四第



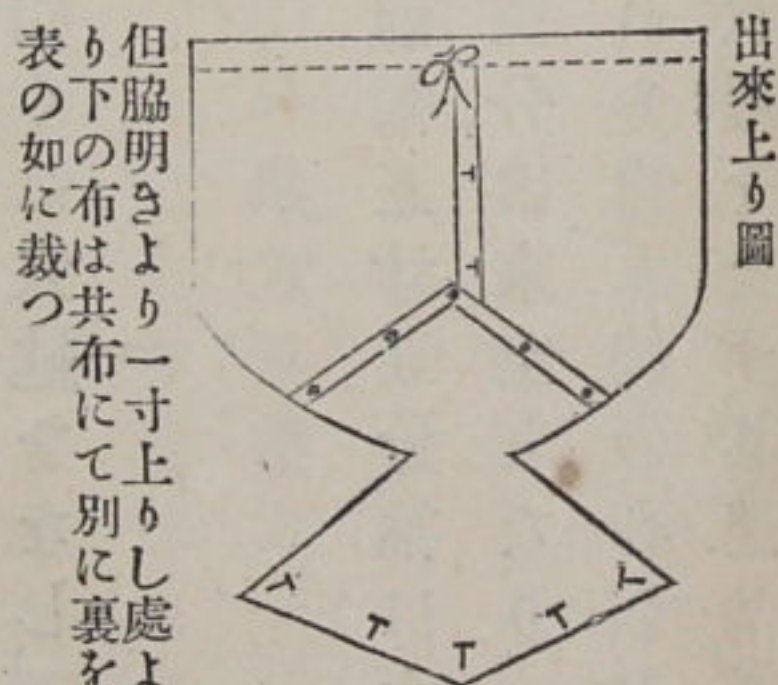
此の四枚を切る



圖一十五第



圖二十五第



と同じ形に裁ち落したる布を裏表ともに中表になして、裁目の所を浅く縫ひ、引き返し、次に上前即左の方は裏の方に幅一寸折りて見返しとなし、次に折り返したる見返し布の端を、又二分位に折りて身頃にまつり付け、下前は幅五分廣くなし、裏に五分折返してまつり付け、次に身頃の裏の端を折りて身にまつりつけ、

次に勝上を最初裁目より二分裏に折り、次に又八分裏の方に折り返し、次に下前の持出し幅の中央は表の布のみに菊坐穴を明け、穴紐をなし其穴にテープを通し、上前は見返しの端よりテープを出し、次に折り返したる見返しを身頃にまつり付け、次に勝下の縫合したる縫目にミシンを掛くるなり。

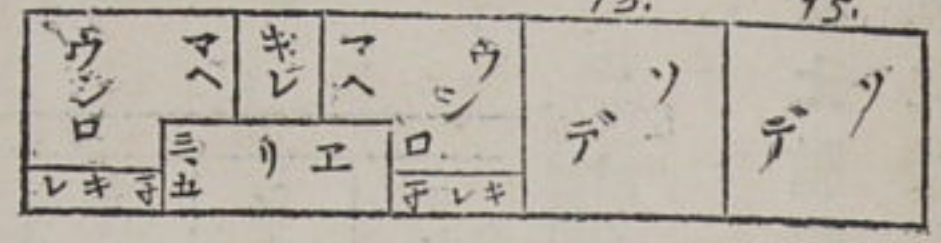
然して縫ひ上りたる後、第五十二圖の如くに穴紐をなし、下前に釦を付くるなり。

○誓古着の裁方及積方。 (擊劍用)

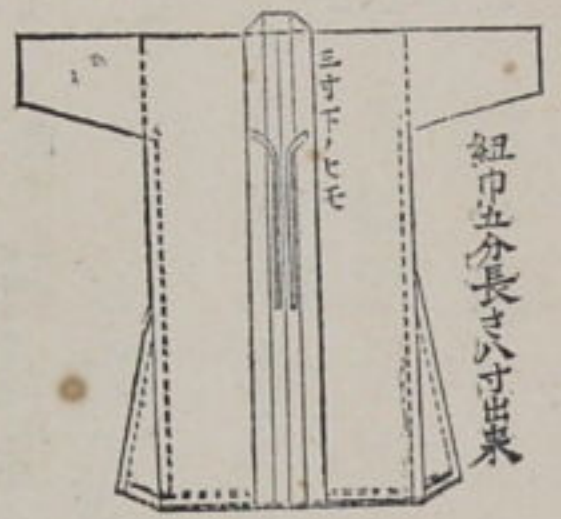
丈二尺九寸、行一尺七寸、後幅七寸五分、前幅五寸五分、袖口六寸、袖付七寸、衿幅一寸五分、馬乗五寸、裾紵幅三分出来上りなり。

之に用ふる帯は幅二寸、丈八尺出来、何れも白木綿の心を入る、前衿裁にて肩當付、絲は二重よたへにて縫ひ、又伏縫ふせぬいをなす、其他は通常の

圖三十五第



圖り上來出



襦袢を縫ふと同様なり。

積方。袖丈七寸五分に身丈三尺を加へ、之を四倍し、七寸を加へて用布を知るなり。

○股引の裁方及積方。

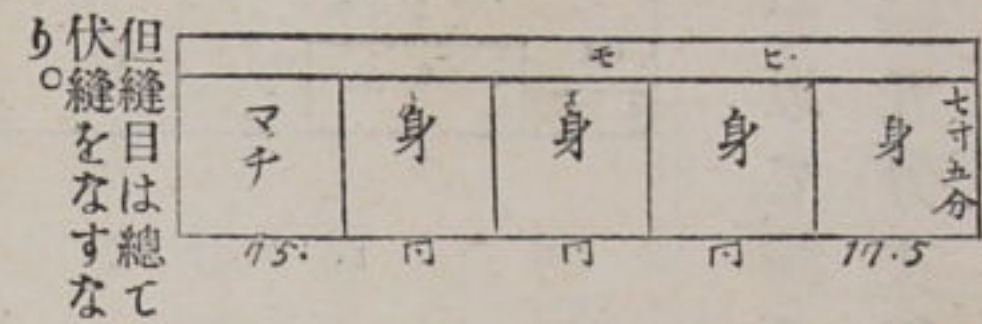
積方。一尺七寸五分を四倍して、之に襠の七寸五分を加へて用布を得るなり。(第五十四圖)

○幅一尺八寸、長さ六尺一寸の

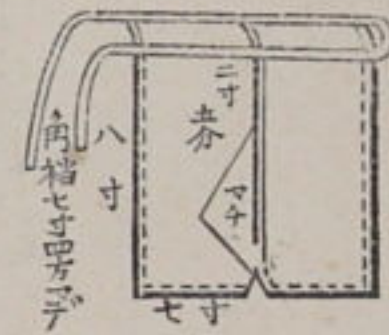
布を以て、勝上股引仕立ツボン下の裁方及積方。(第五十五圖)

紐幅五分丈五尺出来、丈二尺七寸、勝下二尺、腰廻一尺九寸。

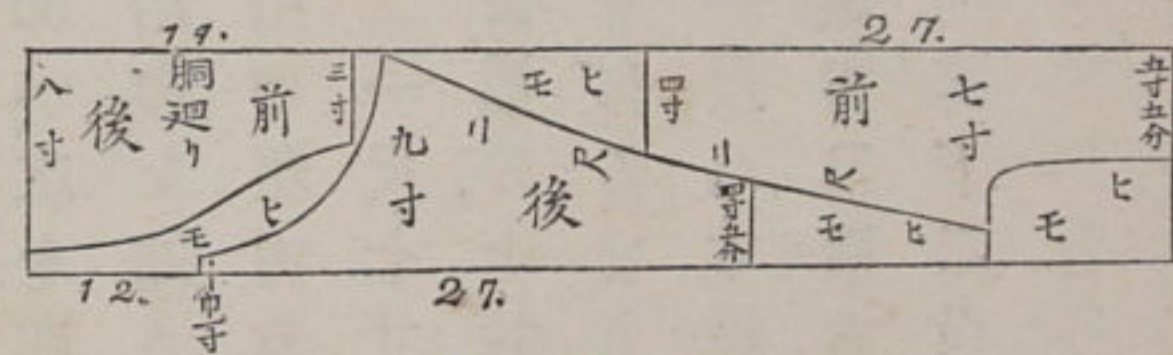
圖四十五第



圖り上來出



圖五十五第



算式

$$27 \times 2 = 54,$$

$$54 + 12 = 66,$$

$$66 - 5 = 61, \text{用布}$$

裁縫口に於て
裁合せ五寸

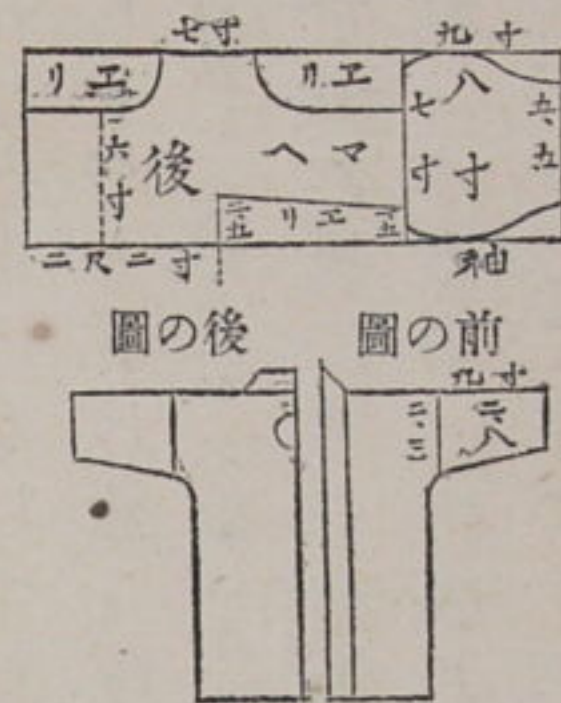
○膝上股引仕立ズボン下の縫方。
最初に後と前とを揃へて脇縫をなし、其縫目は前の方に折りを

付け、縫込の端を折りてまつり付け、次に裾口を四寸残して内膝即二尺の所を縫ひ、其折目は前の方に返し、縫込の端を折りてまつり付け、裾口の縫ひ残したる處をも三つ折りになしてまつり付け、或は縫込を表に返してテープを縫付け、次に胴廻の廣き方を後ろになして、膝上に縫付け、其縫目は胴廻の方に返して、縫込の端を折りてまつり付け、次に前の方を四五寸程交へ、右足を下に左足を上になして重ね、左の方に紐を七寸出して縫付け、次に裏にまつり付け、然る後疊み付くるなり

注意 總てミシン縫にするもよし。

○常幅六尺二寸の布を以て、車夫用筒袖の裁方及積方(第五十六圖) 衿肩二寸出來、衿幅八分、脊紋下り一寸五分裁切、衿肩より六寸下りにて左にフックを付け、右にアイスを付ける、肩當後

圖六十五第



算式
 袖 9, × 2 = 18,
 22, × 4 = 88,
 88, + 18, = 106, 用布

八寸前二寸五分、袖付は身の方に返し、脇は後ろに返すなり。

○夏の腹掛裁方、(第五十七圖) 身と衣袋の裁方、

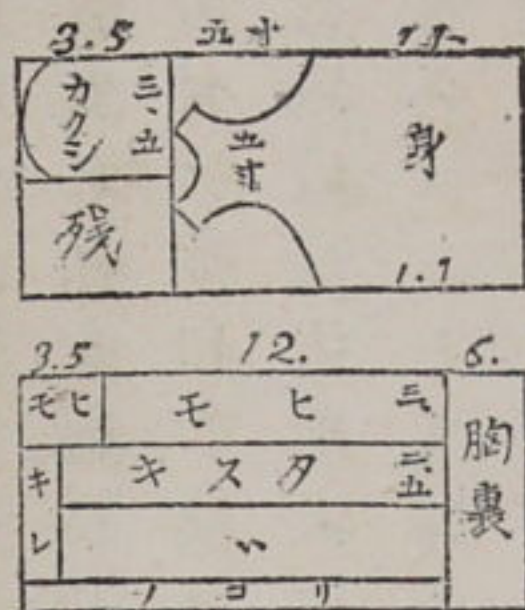
用布。目倉縞を常幅にて一

尺九寸五分要す。

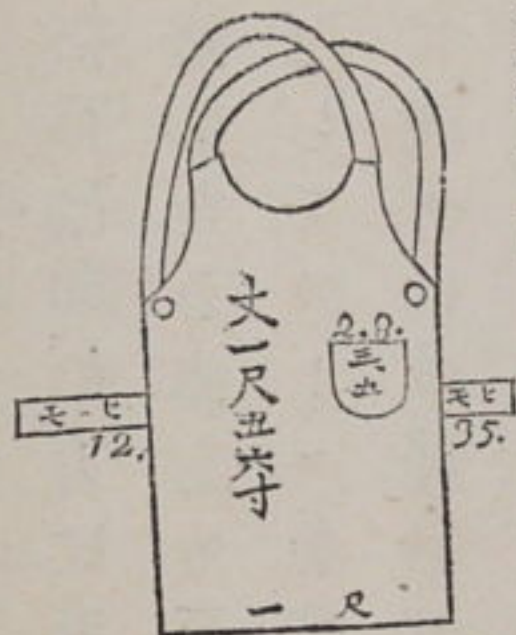
衿肩、一寸五分、顎一寸、肩幅一寸二分、肩三分形を付くる。

胸裏と襷及紐は白木綿を常幅、長さ二尺一寸五

圖七十五第



出来上り圖



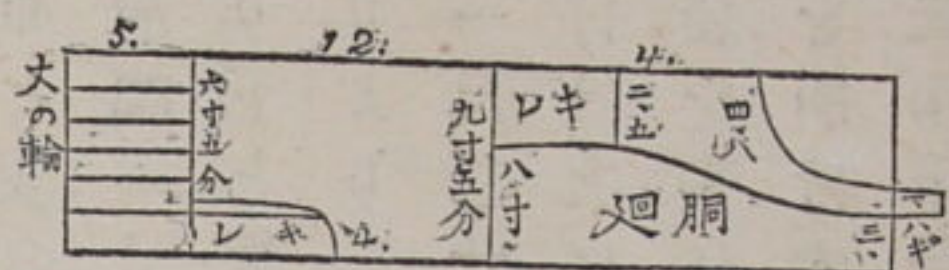
分を要す、襷幅二寸五分、丈一尺四寸五分。

○夏の腹掛縫方。

紐と襷に別布を心に入れ、一方の先は裁目のまゝにて拵け、次に胸當布と表身と揃へ、胸當布の丈のある所まで、左右の脇を縫ふ、此時肩幅一寸二分の所に襷を挟みて縫ふなり、次に胸當布の終りより下と裾口とを三つ折りになし、針目細かに拵付け、次に脇明止りより二寸五分下りし所にて、左に丈三寸五分の紐を付け、右に一尺二寸の紐を付け、先に穴を横に二つ明け、左の紐にボタンを付け、次に左脇にて肩より六寸下り、脇より幅一寸五分入りて、衣袋を表に付け、次に襷の端に釦を一個づゝ付け、身頃の兩脇に穴を朋け、穴紐をなすなり。

○車夫用半股引の裁方及積方。(第五十八圖)

圖八十五第



算式
 身丈 胸廻 紐
 $12 + 18.5 + 5 = 35.5$
 $35.5 \times 2 = 71$ 用布

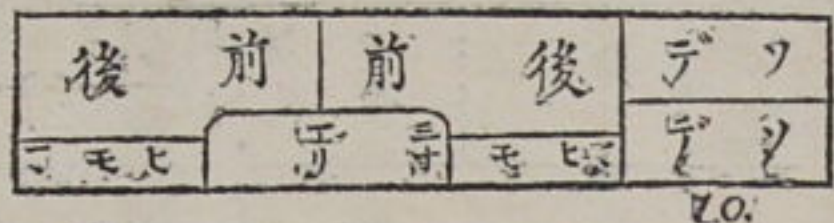
用布、常幅長さ七尺一寸。
 縫方。第一内襠を一分先きに出して身に縫付け、其縫目は身の方に返して、縫込の端を折りて身に縫付け、次に外襠を一分先きに出して身に縫付け、縫込の端を折りて身に縫付け、次に裾を締付け、次に胸廻の廣き方を後身の方になして縫付け、前の方は四五寸交へて、左の方に紐を六七寸出して縫付け又締るなり。

○車夫用袴の裁方(第五十九圖)

仕立寸法は總ていっばい。

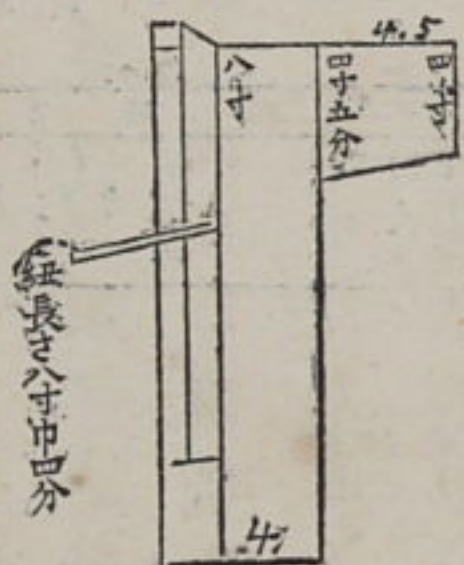
腹掛の寸法の度り方は、最初喉より膈の止りの所迄度りて之を

圖九十五第



丈一尺入寸
 袴幅一寸
 袴肩二寸

圖り上來出



丈とす、次に胸の廻りを度り之を胸廻とす、胸廻の三分の一を身の幅となし、又身の幅の二分の一を脇布の幅となし、身の幅の三分の二を胸の幅とし、又胸廻の二分の一に一寸八分を加へて、袴の寸法となすなり。

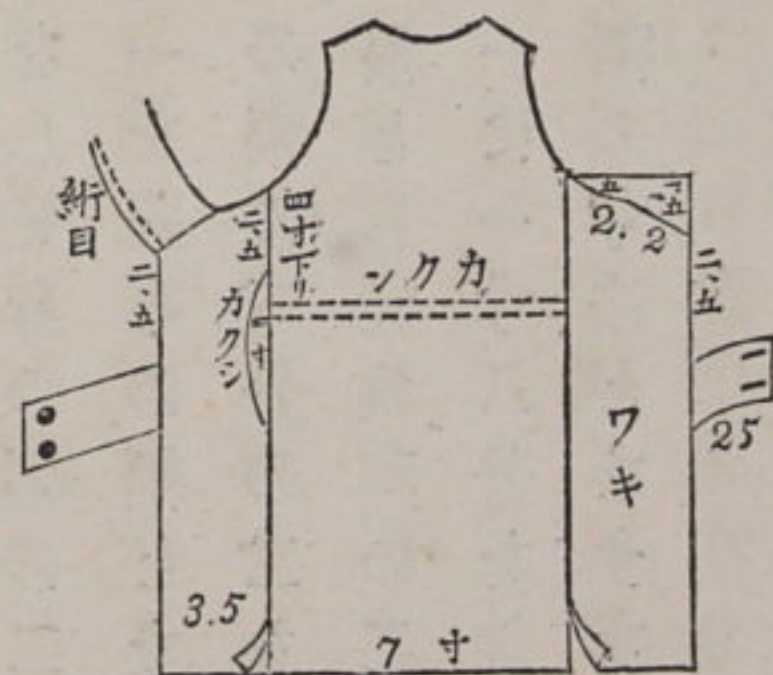
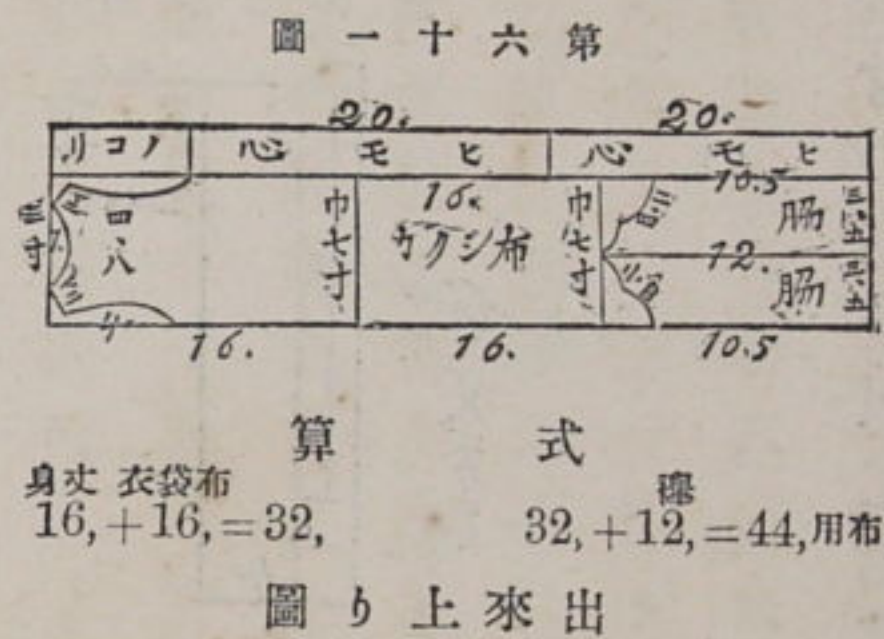
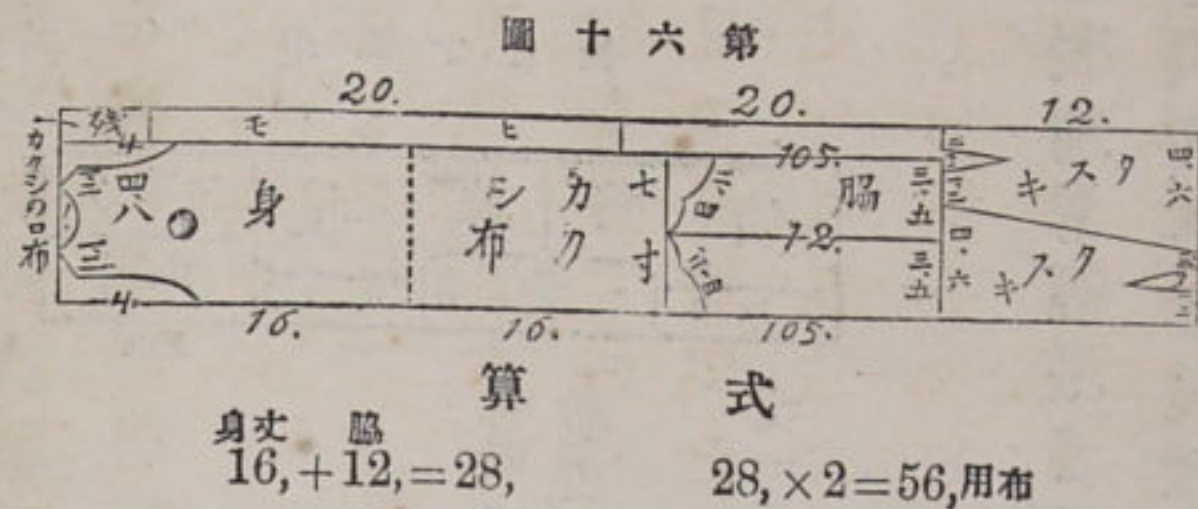
○表地常幅長さ五尺六寸の布を以て、袷腹掛の裁方及積方。(第六十圖)
 ○表紺裏淺黄木綿にて、裏の裁方及積方。(但用布四尺四寸)(第六十一圖)

第一紐及襷の布に心を入れて之を新付け、次に左右の脇布に紐及襷を縫付け、又馬乗をも縫ひ、引き返し、次に衣袋に口切を付け、之を裏の身に綴付け、次に腮を伸さぬ様に縫ひ、次に衣袋の止まりに切込を入れて、表身と衣袋の布とを別々に縫ひ、引き返し、次に身と衣袋の布とを以て、脇布を挟みて馬乗の處迄縫ひ、次に身の裾口より左右一寸づゝ馬乗を縫ひ、引き返して裾口を新付け、次に腮并に脇の下に共布にて縁を取るなり。

○三つ身羽織を仕立つる寸法。

身丈一尺五寸、袖丈は着物より三分長く、袖口は着物と同様、袖幅二三分廣く、袖付は一分多く、身の八つ口は二寸、後幅五寸七分、前幅四寸、衿幅一寸三分、襠幅下にて一寸五分、上にて五分、前下七分紐付は衿肩より五寸五分以上下ぐるなり。

○衿腹掛の縫方。



○四つ身羽織を仕立つる寸法。

身丈一尺八寸内外、袖丈着物より三分長く、袖幅は着物より二、三分廣く、袖口は着物と同様、袖付は一分多く、身の八つ口二寸、後幅六寸以上、前幅四寸以上、衿幅一寸四分、襠幅下一寸六分、上五分、前下七八分、紐付は衿肩より六寸以上。

○幅一尺、長さ一丈四尺の布を以て、三つ身羽織の裁方及積方。

積方。袖丈の四倍と前後の差四寸とを總尺より減じ、残りを三除せば後丈を得、又後丈に四寸を加ふれば前丈を得るなり。
裁方。一丈四尺の中より、六尺四寸を切り、其端より幅三寸、豎に斷ち、之を衿と袖口となし、残りの廣き方を兩袖とす、次に残りの七尺六寸ある布を左右の端二尺四寸宛の所を幅の真中まで切り込み、衿肩一寸八分になして脊の端より襠を取るなり。

圖二十六第

袖	七寸	袖	六寸八分	後	六寸	前	六寸	マ	六寸	チ	六寸八分
エ	三寸	リ	同	口	袖	同	マ	六寸	後	六寸八分	前

衿丈四尺四寸
袖口一尺つゝ
同
衿肩一寸八分
算

式

$$140, - 64, = 76,$$

$$76, \div 8 = 24, \text{後身丈}$$

$$16, \times 4 = 64,$$

$$76, - 4, = 72,$$

前後の差

$$24, + 4, = 28, \text{前身丈}$$

注意 衿肩は、一寸五分、真直にして、三分丸くす。

圖三十六第

袖	九寸	袖	六寸四分	後	六寸四分	前	六寸四分	マ	六寸四分	チ	六寸四分
エ	九寸	リ	同	口	袖	同	マ	六寸四分	後	六寸四分	前

袖幅九寸
衿幅四寸つゝ
同
衿肩一寸八分
算

式

$$230, - 128, = 102,$$

$$94, \div 4 = 23,5 \text{後身丈}$$

$$16, \times 8 = 128,$$

$$102, - 8, = 94,$$

二分前の枚の後差

$$23,5 + 4, = 27,5 \text{前身丈}$$

一分前の枚の後差

○幅一尺三寸、長さ二丈三尺の布を以て、三つ身羽織二枚の裁

合方及積方。(第六十三圖)

積方。袖丈の八倍と、前後の差の二倍とを總尺より減じ、残りを

四にて除せば、後身丈を得、後身丈に前後の差を加ふれば、前身丈を得るなり。

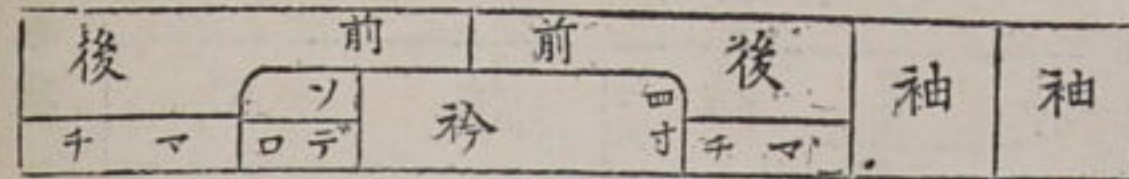
○幅九寸五分の布を以て、前衿裁

羽織の裁方及積方。(第六十四圖)

但袖丈一尺六寸、後丈二尺七寸、前丈三尺一寸。

積方。袖丈一尺六寸の四倍と、後丈及前丈とを合せて、之を二倍せし者とを加ふれば、用布を得るなり。

圖四十六第



後丈二尺七寸	式	後丈	前丈	
衿肩二寸二分		27,	+ 31,	= 58,
前丈三尺一寸				
衿丈四尺六寸	算			
前幅五寸五分		袖丈		
後幅七寸七分		16,	× 4 = 64,	
		58,	× 2 = 116,	
				116, + 64, = 180, 用布

○本裁男羽織を仕立つる寸法。(但普通)

身丈二尺五六寸、袖丈着物より三分長く、袖幅九寸、袖口八寸、行は着物より一分長く、後幅八寸、前幅五寸、前下一寸、襠幅一寸九分、又は二寸、衿幅は襠幅と同様、紐附は衿肩より七寸五分以上、衿肩は、後の方に、一分繰越すを並とすれども、體格に依り、多少繰越す事もあり、又腰の曲りたる人は、後を前に繰越すものなり。

○男單羽織の縫方。

先づ袖を自己の方に、袖口布を自己の向ふに持ち、口明きの所を縫ひ、折目は、表の方に返し、次に紋の在る所を後ろにし、口明を止め、それより袖附迄縫ひ、袖形を拵へ、袖口布と袖下の縫込とを拵附け、引き返して、躰絲を掛け、次に紋を能く合せて脊を縫ひ、折目は、自己の方に返し置き、後幅八寸、肩幅八寸五分、前幅五寸三分に

六二
印を付け、次に脊の縫込の端を折りて、衿付け、前下の所を三つ折りになして、端を綴付け、次に紐付けを縫付け、次に衿にて前身頃をくるみ、衿先の所は、身頃の幅を丈二寸の間にて一分斜に縫込み、それより紐付けの所迄は、衿も身頃も同様になし、紐付けより紐付け迄は、衿を一分程緩くなして、衿肩の所にて、身頃の表の方は、衿を一枚残して縫付け、次に衿先は一分中を縫ひ、折目は身頃の裏の方に返して綴付け、次に衿の縫込の中に衿心をくるみて、所々を綴ぢ衿肩より引き返し、衿肩の縫ひ残したる所を衿付け、襷を掛け、次に襷幅、下二寸、上一分に、印を付け、襷の頭を細く三つ折りになして、衿付け、次に前後の身頃に、襷を縫付け、襷の縫込は、身頃の縫込に衿付け、次に裾を衿付け、又袖を付け、前後の脇の縫込は、身頃に衿付け、然る後裏の方より火熨斗を掛け、疊むなり。

女物、及子供の單羽織は、八つ口を明けるのみにて、其他は、男物の縫方と同様なり。

○男衿羽織の縫方。

第一裏袖に袖口布を縫付け、次に表袖を自己の方に、裏袖を向ふにして、表は裏より一分緩く、口明の處迄二分の縫代になして之を縫ひ、其縫目は、五厘きせを掛けて、表の方に折りを付け、袖幅の印を付け置き、次に身頃を取り、胴繼をなし、衿肩を右に持ち脊を表と裏と四枚共に縫ひ、其縫込は自己の方に折りを付け、次に之を下に置き、後幅の印は、裾口より袖付け迄付け、又衿肩の所にて肩幅を度り、前幅は袖付けの印より裾口迄印を付け、肩幅の印より袖付けの印迄、定木を置くか、又は絲を引きて斜に線を引きて、印を付け、次に前下は、裏の方を一分縫込み、表は印の處を前幅の印

迄縫ひ、其縫目は五厘きせを掛けて、裏の方に返し、表を出して、前下の處は表を裏に五厘ふかせて、折目を付け、次に之を左右に引き伸し、裏を自己の方に、表を向ふにして、前身頃の衿を附くる所を裏表揃へ、綫絲にて縫ひ置き、次に紐付けを縫付け置き、次に脊縫と、衿丈の眞中とを合せて、待針を刺し、紐附の處迄は、衿を一分程緩くして待針を刺し、それより衿先迄は、身頃も衿も同様になし、前下の所に於て、身頃を丈二寸許りの間に、幅一分程斜に縫込み、次に衿の中に身頃を疊み込み、然る後衿肩廻迄、衿を四つ縫にし、衿肩の處は、衿の裏になる布を一枚放し、右の衿肩廻迄縫ひ、又衿の中に身頃を疊み込み、前と同様にし、衿先の處は二寸の間に、身頃の幅を一分斜に縫込み、衿先は衿の縫込の布を開きて、一分内を縫ひ、縫目は裏の方に返し、衿を縫付けたる處に返針に

て衿先の縫込を縫付け、次に衿幅の縫込の布を其上に折返して縫付け、衿の縫目は、自己の方に返し、次に衿肩より、衿及前身頃を引き返し、衿の縫目は、身頃の方に五厘程ふかせて、折を付け、次に衿の附け残せし所を緝け、次に後身頃を以て、後襠を挟み、身頃の方をゆるくして、之を四つ縫にして引き返し、次に袖付は、一分縫代にして、折目を付け、其所に袖を少し緩くして縫付け、縫目は袖の方に返し、次に裏袖を縫付け、前の袖付の處を五寸許り縫ひ残し置き、折目は身頃の方に返し、(但身を開き袖を折りて一分縫代にす)之を引返し、袖口の處を四つ縫にし、それより袂の角迄で縫ひ置き、次に袖付を七枚共に絲止めをなし、袖下を縫ひ、又袖形を拵へ、其縫目は、表の方に折り、之を引返し、前身頃を以て、前襠を挟み、裾口より四つ縫にし、表に折を付け、引返し、袖付の縫ひ残し

六六
たる處を紵け、然る後雙方とも縫目を正しくなし、衿及前下、袖等に、躰絲を懸けて之を疊み附け、壓を置くなり。但袖付七つ止めの針の掛け方は裏の前身頃一枚だけ残し、左右共袖口を左に持ち、布の重りたる順に通すなり。もし絹布ならば袖形及裾口に眞綿を少しく入るゝをよしとす。

○女衿羽織の縫方。

先づ袖裏に袖口を縫付け、其折目は袖の方に折りを付け、裏の方より釵をかけ、次に裏袖を自分の向ふに、表袖を自分の方に持ち、裏と表とをゆるくして、袖口明の處を縫ひ、其縫目は五厘きせを懸けて、表の方に折を付け、次に袖口明の處は後ろになる方を浅く折りて、口明は四枚共に極めて浅く絲止めをなし、之を袂の角迄縫ひ、次に袖幅の印を付け、裏袖の幅も丈も少しつめて八つ口

六七
を縫ひ、其縫目は裏の方に折りを付け、次に八つ口下の處を裏と表と四枚共に絲止めをなし、袖下を四つ縫にし、其縫目は表の方に折りを付け、絹布なれば、袖形の處に眞綿を少々入れ、之を引返して一束に躰絲をかけ、但袖口は毛拔合、八つ口は裏袖を二厘程去りて躰を懸るなり。次に裏と表の胴繼をなし、其縫目は、胴裏の方に折りを付け、烙釵やきこを懸け、衿肩を右に表身頃を自分の方に、裏身頃を自分の向ふになして、脊を四枚共に縫ひ、其縫目は自分の方に折を付け、之を下に置き、後幅と肩幅と前幅との印を付け、前下は表は印の處、裏は印を一分縫込みて、前幅の印だけに之を縫ひ、其縫目は、裏の方に折を付け、裏の方に表を五厘ふかせて、前下の折を付け、次に前身頃の端を表と裏とを揃へて躰にて縫ひ置き、次に衿山と脊縫を合せて待針を刺し、衿先の處は、二寸の間に

て、身頃を一分斜に縫込む様に、衿の中に身頃を疊み込み、紐付より下は衿も身頃も同様に、紐付より紐付迄は、衿を二分程ゆるくなして、衿肩の處は裏の方を一枚放して衿を付け、衿先は一分中を縫ひ、其縫込は裏の方に返して小針に縫付け、若衿心あらば、衿の縫込の中にくるみて、處々綴付け、衿肩より引返し、衿の縫目をこき出し、次に衿を付け、残せし所を新付け、次に後襠を付け、又後の身八つ口を縫ひ、引返し、次に前襠を付け、又前の身八つ口を縫ひ、引返し、表袖を表身頃に縫付け、其縫目は袖の方に折を付け、次に裏袖を裏の身頃に左右共縫得るだけ縫付け、引返して、縫ひ残せし處を新付け、前下と衿とに襷を懸け、疊付け、壓を置くなり。

○女綿入羽織の縫方。

第一裏袖に袖口を掛け、袖の布を一分程緩くして、口明の處に待

針を刺し、袖付を右に持ち、口明迄縫ひ廻し、絲止をなし、(但裏袖幅は表より六分廣くなる様にす)次に袖形を拵へ、左の袖は、自分の方に折を付け、右の袖は、自分の向ふの方に折を付け、其所に釧を掛け、次に表袖を縫ひ、襷を懸け、袖幅の印を付け、絹布ならば、八つ口を縫ひ、裏に綿を綴付け、次に胴繼及脊縫をなし、下に置き、後幅、肩幅、前幅の印を付け、次に前下は、表は印の通り、裏は、印を一分縫込み、前幅印の所まで縫ひ、針目を五分位に隠襷をかけ、次に後襠及前襠を付け、二厘程きせをかけて、身頃の方に折りを付け、雙方の縫目に釧を掛け、次に表を外に出し、裏表の間より手を入れ、襠丈の止まりにて一針絲止めをなし、其絲にて、身の八つ口を縫ひ、着物の如く、袖を付け、表は袖の方に折りを付け、裏は身頃の方に折りを付け、其處に釧を懸くるなり。但八つ口及身の八つ口

は着物の如く綿を縫付け置くなり。

注意 綿の入れ方は、着物と同様なり。

紵方。袖口に綿を括り付くるには、始めと終りは、針目を二分位に綴付け、真中は、針目を四分位になし、其他は、針目を一寸内外にして、表の方に小さく出して、絲と綿と裏の布と引つらぬ様になし、次に裏と表との間に、口明の處を淺く裏表四枚共に絲止をなし、始めと終りとは、少しく表を引つり、其他は、表を少し緩くして、針目を二三分位になし、五厘中を紵け、其絲にて袂の角まで裏表の縫代を揃へて綴じ、次に裏と表との前身頃を揃へ、裾口は表を五厘裏の方にふかせ、衿を付くる所は綿を薄くなして、躰にて縫ひ置き、次に紐付を付け、次に衿丈の真中と脊縫とを合せて待針を刺し、紐付より紐付までは、衿を一分宛緩くなし、紐付より下

は、衿も身頃も同様になし、衿先の處は、丈二寸の間にて、前身頃を一分程斜に縫込み、衿先は一分中を縫ひ、其縫込みは裏の方に折りを付け、衿を付けたる處に、之を縫ひ付け、衿心あらば、衿の縫込みにくるみて、處々綴付け、然る後衿を紵け、脊と前襠とに布綴をなし、衿及八つ口に躰をかけ、次に火熨斗を懸くるなり。

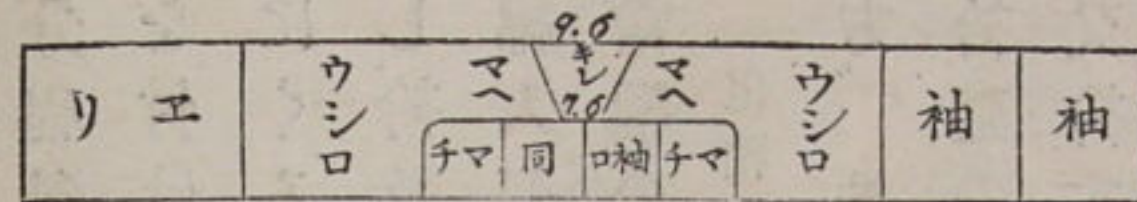
男綿入羽織は、八つ口を止めるのみにて、其他は同様なり。

○常幅の布を以て、單羽織の裁方及積方。(第六十五圖)

但袖丈一尺四寸五分、身丈二尺六寸五分裁切。

積方。袖丈一尺四寸五分の四倍と、身丈二尺六寸五分の六倍とに衿廻の八寸と、前先のむだ切一尺とを加ふれば、用布を得るなり、又衿丈の積方は、身丈に四寸を加へ、之を二倍すれば、衿丈を得るなり。

圖五十六第



後丈二尺六寸五分
前丈二尺七寸五分
袖口一尺八寸
袖丈一尺五寸

算式

袖 14,5 × 4 = 58
 身 26,5 × 6 = 159,
 159, + 58, + 18, = 235,
袖とむだ布廻しと
 26,5 + 4, = 30,5
袖並縫代
 30,5 × 2 = 61,
袖丈

裁方。二丈三尺五寸の中より、五尺八寸切りて兩袖とし、次に六尺一寸切りて衿とし、残りの一丈一尺四寸を丈二つに折り、輪になりし方を前身頃とし、後丈二尺六寸、衿肩二寸七分を圖の如く丸く裁ち、前身頃の方を裁ち落とし、袖口と襷とにするなり。

注意 紐付けは前下のむだ布より取るなり。

圖六十六第

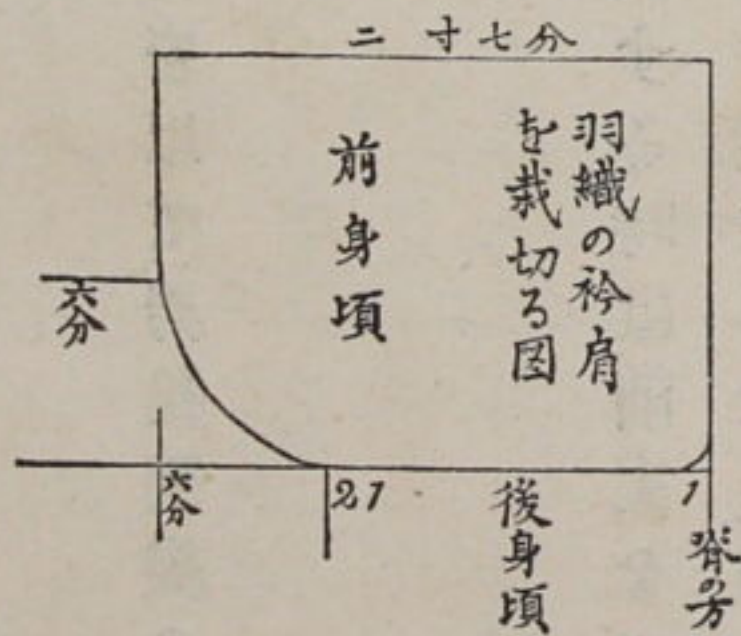


袖丈一尺五寸
衿丈六尺二寸二分
衿肩二寸七分
後丈二尺七寸
袖口一尺八寸
前丈二尺八寸五分
袖口一尺八寸

算式

袖丈 15, × 4 = 60,
 總尺 233, - 60, - 10, = 163,
前下及衿廻
 163, ÷ 6 = 27,1後丈
 27,1 + 4, = 31,1
 31,1 × 2 = 62,2
衿丈

圖七十六第



○幅九寸五分、長さ二丈三尺三寸の布を以て、單羽織鈎襷の裁

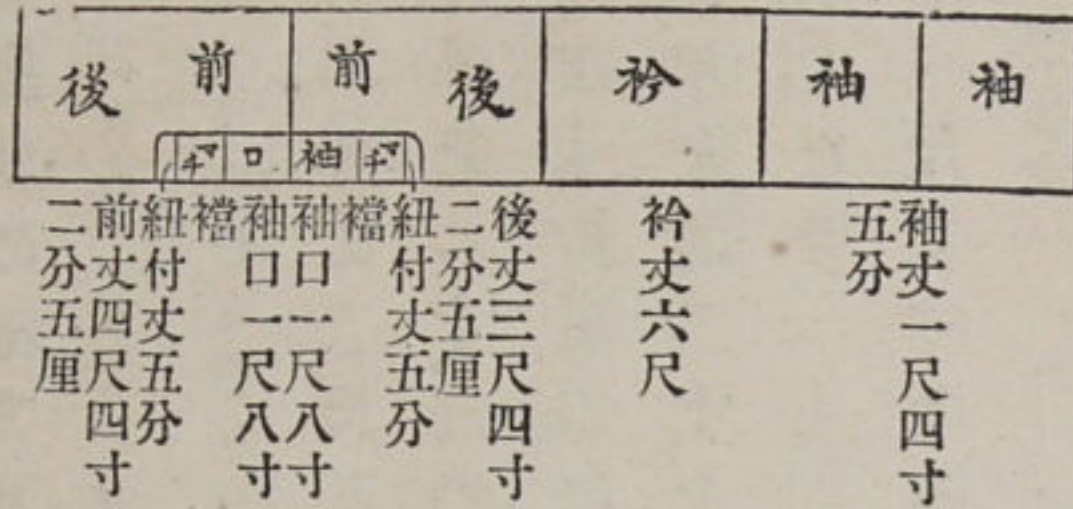
方及積方。

注意

袖丈一尺五寸裁切

(第六十六圖第七圖)

圖八十六第



算式

袖丈 $14,5 \times 4 = 58,$

$25, + 5, = 30,$
先縫と衿
 肩下廻と衿

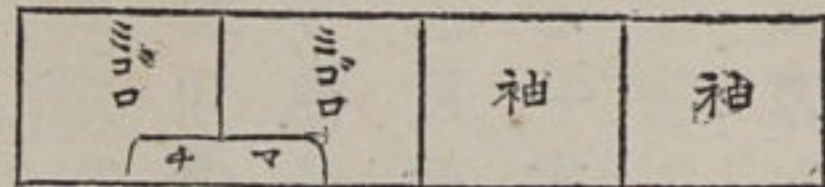
$30, \times 2 = 60,$
衿丈

$157, - 20, = 137,$
前後の差

$137, \div 4 = 34,25$
後身丈

$34,25 + 10, = 44,25$
前のつ
 後差一分

圖九十六第



算式

袖丈 $14, \times 8 = 112,$

$112, + 250, + 25, = 387,$
縫代

$25, \times 10 = 250,$

$387, - 275, = 112,$
用布
 表地 裏地

除し、後身丈を得、又之に前後の差の一つ分即一尺を加へ、前身丈を得るなり。

積方。袖丈一尺五寸の四倍と、前下及衿廻の一尺(但衿肩廻八寸、前二寸の見込)とを總尺より減じ、其残りを六にて除せば、身丈を得るなり。

○幅九寸五分、長さ二丈七尺五寸の布を以て、男衿羽織の裁方及積方。(第六十八圖)

注意 丈二尺五寸、袖丈一尺四寸出來上り。

前身頃の丈の積方。

積方は、表を紐付け迄裏に返さんと欲する時は、前丈を二倍せしものより七寸を減じ、之を前身頃の丈と定むるなり。但七寸は紐付下の見込。

積方。袖丈の四倍と、身丈に五寸を加へたるものを二倍せしもの(丈即衿)を總尺より減じ、又前後の差二尺を減じ、其残りを四にて

○羽織裏の裁方及積方。(第六十九圖)

但表地二丈七尺五寸の布を以て、袖丈一尺四寸、身丈二尺五寸の出来上りに
なさむと欲せば、其裏地幾尺を求むべきや。

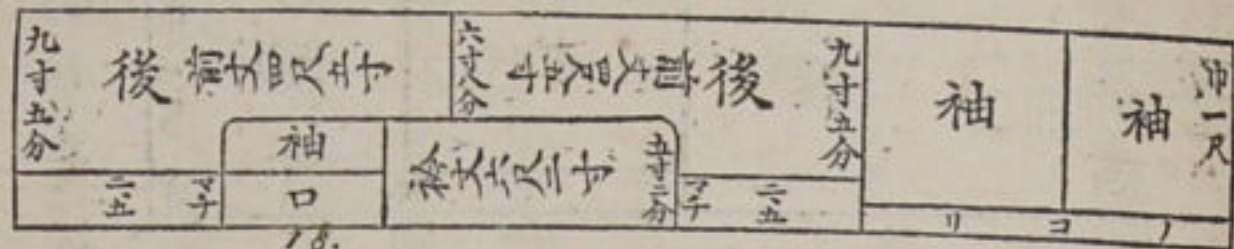
積方。身丈二尺五寸の十倍と、袖丈一尺四寸の八倍とを合せ、之に衿肩廻六寸、衿の前下二寸、衿の縫込二寸、袖の縫代四寸、胴繼の縫代四寸、衿肩の縫代一寸、前下六寸、合計二尺五寸を加へたるものより、表地二丈七尺五寸を減ずれば、残る一丈一尺二寸は即裏の用布なり。

○幅一尺二寸の布を以て、羽織の裁方及積方。(第七十圖)

但袖丈一尺五寸、後身三尺五寸、前丈四尺五寸裁切。

裁方。先づ二丈二尺の中より六尺切り、其片端より幅二寸を豎に斷ち、残りの幅一尺ある布を兩袖とし、次に一丈六尺ある布を

第七十圖



衿肩
二寸七分

算

袖丈
 $15, \times 4 = 60,$

$80, \times 2 = 160,$

式

前丈 後丈
 $35, + 45, = 80,$

$160, + 60, = 220, \text{用布}$

豎二つに折り、輪になりし方を前身頃とし、前丈四尺五寸の所に、衿肩五寸二分裁切り、それより前を裁落し、之を衿と袖口とにし、次に衿肩を二寸七分になし、脊の端より幅二寸五分裁落し、襠となすなり。

積方。袖丈一尺五寸の四倍と、後丈三尺五寸に前丈四尺五寸を加へて二倍したるものを合せて總尺を得るなり。

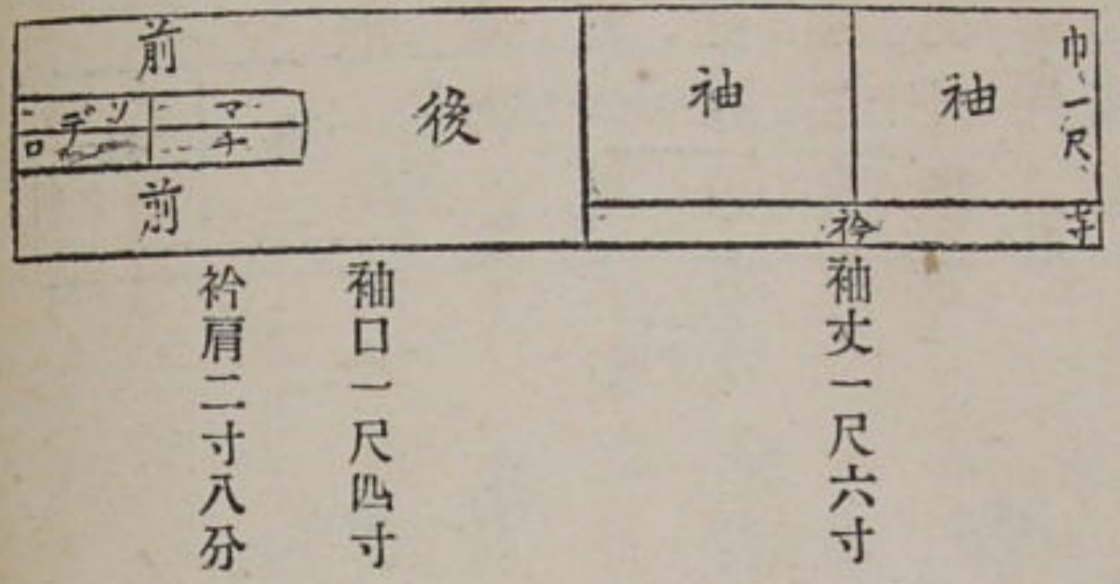
○幅一尺七寸、長さ一丈四尺の布を以て、引返女羽織の裁方及積方。(第七十一圖)

注意。袖丈一尺六寸。

裁方。一丈四尺の中より、六尺四寸切り、其片端より、幅七寸豎に

断ち、之を衿とし、残りの廣き方を兩袖とし、次に衿肩を二寸八分に切り、それより前を裁落し、之を襦と袖口となすなり。

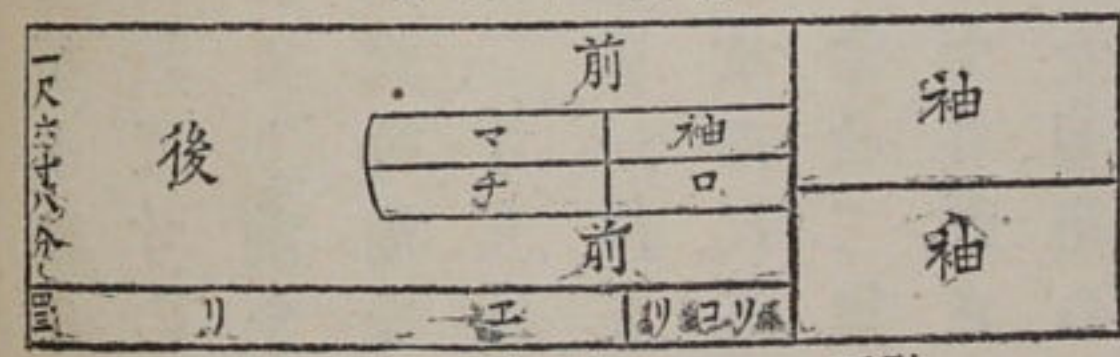
圖一十七第



算式

$$\begin{aligned}
 & \text{袖丈} & 16, \times 4 = 64, & & 140, - 64, = 76, \\
 & & & & 76, - 10, = 66, & & 66, \div 2 = 33, \text{後丈} \\
 & & & & \text{前後の差} & & \\
 & & & & 33, + 10, = 43, \text{前丈}
 \end{aligned}$$

圖二十七第



算式

$$\begin{aligned}
 & \text{袖} & 14,5 \times 2 = 29, & & 110, - 29, = 81, \\
 & & & & 81, - 10, = 71, & & 71, \div 2 = 35,5 \text{後身丈} \\
 & & & & \text{前後の差} & & \\
 & & & & 35,5 + 10, = 45,5 \text{前身丈}
 \end{aligned}$$

積方。袖丈の四倍と、前後の差一尺とを總尺より減じ、残りを二にて除せば、後身丈を得、後身丈に一尺を加ふれば、前丈を得るなり。

○幅二尺一寸、長さ一丈一尺の片面物を以て、男羽織の裁方及積方。(第七十二圖)

積方。袖丈の二倍と、前後の差の一尺とを總尺より減じ、二にて除せば、後身丈を得、後丈に一尺を加ふれば、前身丈を得るなり。

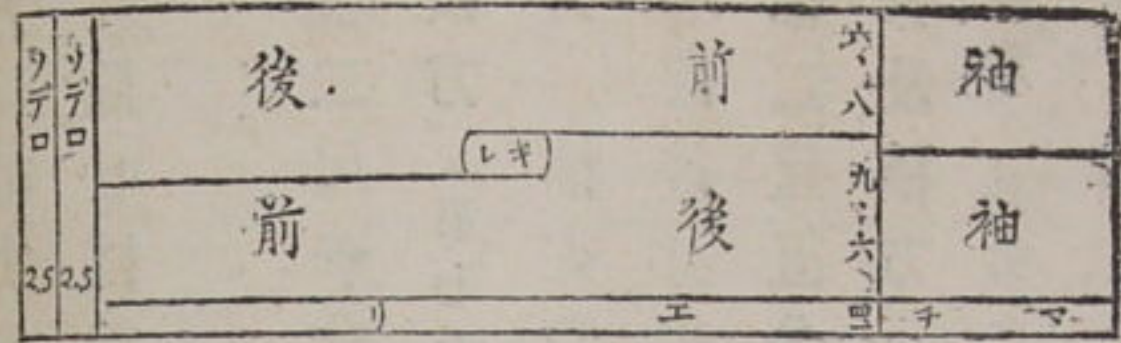
○幅二尺五分、長さ八尺五寸の兩面物を以て、總裏女羽織の裁方及積方。(第七十三圖)

注意。袖丈一尺六寸。

積方。袖丈の二倍と、袖口と、前後の差とを總尺より減じ、残りを二にて除せば、後身丈を得、後丈に前後の差を加ふれば、前丈を得

るなり。

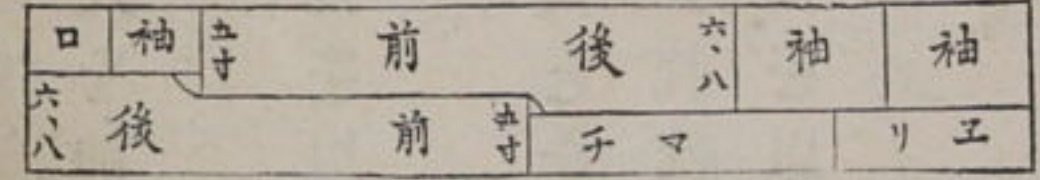
圖 三 十 七 第



袖幅二寸
後丈二尺三寸
袖幅四寸一分
衿幅二寸八分
前丈二尺五寸
衿丈五尺三寸
算

袖丈 $16, \times 2 = 32,$ 總尺 $85, - 32, - 5, - 2, = 46,$
袖口前後の差
 $46, \div 2 = 23,$ 後丈 $23, + 2, = 25,$ 前丈

圖 四 十 七 第



袖丈一尺六寸
袖巾七寸
衿巾三寸
衿丈四尺
衿肩一寸八分
身丈二尺五寸
三分三厘餘

算 式
袖丈 $16, \times 4 = 64,$ 總尺 $140, - 64, = 76,$
 $76, \div 3 = 25,33$ 身丈

第七十三圖は身頃裁違の裁方と云ふなり。

○幅一尺、長さ一丈四寸の布を以て、三つ身羽織表の裁方及積方。(第七十四圖)

○三つ身羽織を仕立つる寸法。

袖丈一尺五寸内外、袖幅七寸五分、袖付五寸、袖口四寸五分、身丈一尺七寸内外、後幅六寸、前幅四寸三分、衿幅一寸三分、前下七分、紐付衿肩より五寸五分下、襷幅一寸三分、上の方にて五分。

○表地常幅長さ一丈四尺の布を以て三つ身羽織の裏の裁方及積方。(第七十五圖)

○幅一尺三寸、長さ一丈二尺の布を以て、四つ身羽織表の裁方及積方。(第七十六圖)

○四つ身羽織を仕立る寸法。

尺を總尺より減じ、其残りを四にて除し、後丈を得、後丈に五寸を

圖七十七第

後	前	前	後	袖	袖
チマ	ロデソ	リ	エ	七寸差	
	袖口布幅二寸	衿幅四寸	衿丈四尺八寸	後丈二尺七寸	襠幅二寸
			前丈三尺二寸	衿肩二寸	袖丈一尺五寸

算式
 袖丈 $15,5 \times 4 = 62,$
 前後の差の二倍
 $118, - 10, = 108,$
 $27, + 5, = 32,$ 前丈の差
 總丈 $180, - 62, = 118,$
 $108, \div 4 = 27,$ 後丈

圖八十七第

ウシ	マ	チマ	マ	ウシ	ソデ	ソデ
レキ	ロデソ	リ	エ	四寸	レキ	ロデソ
				衿肩二寸	後丈二尺一寸	袖丈一尺六寸
				三分直線に切り		

算式
 袖丈 身丈 $16, + 21, = 37,$
 $148, + 17, = 165,$
 襠

○常幅長さ一丈八尺の布を以て、四つ身袷羽織表の裁方及積方。袖丈一尺五寸五分の四倍と、身頃前後の差五寸づゝ、即一

身丈二尺内外、袖丈着物より三分長く、袖付一分多く、後幅六寸五分、前幅四寸五分、衿幅一寸五分、襠幅一寸五分、上の方にて五分、前

圖五十七第

後	前	リコノ	袖	袖
リコノ	前	後	六七五	
			六七五	

算式
 袖丈 $15,5 \times 8 = 124,$
 $124, + 102, + 9, = 235,$ 縫代
 身丈 $17, \times 6 = 102,$
 $235, - 140, = 95,$ 表地 用布

圖六十七第

前	後	袖	袖	中九寸
チ	マ	ロデソ	リ	エ
前				

算式
 袖丈 $15,5 \times 4 = 62,$
 總尺 前を長くする分
 $120, - 62, - 4, = 54,$
 $54, \div 2 = 27,$ 後丈
 $27, + 4, = 31,$ 前身頃丈

衿肩二寸
 前丈三尺一寸
 後丈二尺七寸
 衿幅四寸
 衿丈五尺
 袖丈一尺五寸五分